

Yoshino.	Takasago.	Kasagi.	Chitose.	Niitaka.	Otowa.	Fuji and Yushima.	Asama & Tokiwa.
360'-0"	360'-0"	374'-6"	377'-11 $\frac{1}{2}$ "	334'-8"	321'-6"	374'-0"	408'-0"
46'-8"	46'-8"	48'-9"	49'-0 $\frac{1}{16}$ "	43'-11 $\frac{9}{16}$ "	41'-3"	73'-0"	67'-0"
17'-0"	17'-0"	17'-9"	17'-7 $\frac{1}{2}$ "	16'-2"	15'-9"	26'-6"	24'-4 $\frac{1}{4}$ "
4150	4160	4900	4760	3363	3000	12450	9700
22.5	22.5	22.5	22.5	20	21	18.25	21.5
15750	13070 15750	17000	12500 15500	9400	10000	13500	18000
Vertical 4 Cylinders triple	Vertical 4 Cylinders triple	Vertical 4 Cylinders triple	Vertical 4 Cylinders triple	Vertical 4 Cylinders triple	Vertical 4 Cylinders triple	Vertical 3 Cylinders triple	Vertical 4 Cylinders triple
40" x 60" x 66" x 66"	40" x 60" x 66" x 66"	42 $\frac{1}{2}$ " x 61 $\frac{3}{4}$ " x 68" x 68"	40" x 60" x 66" x 66"	29 $\frac{1}{2}$ " x 44 $\frac{1}{2}$ " x 49 $\frac{1}{4}$ " x 49 $\frac{1}{4}$ "	29 $\frac{1}{2}$ " x 44 $\frac{1}{2}$ " x 49 $\frac{1}{4}$ " x 49 $\frac{1}{4}$ "	40" x 59" x 88"	42" x 60" x 66" x 63"
33"	33"	33"	36"	30"	30"	45"	39"
165	165	165	154	185	200	120	155
907.5	907.5	907.5	924	925	1000	800	1007.5
2	2	2	2	2	2	2	2
13'-9" x 17'-0"	13'-9 $\frac{3}{8}$ " x 16'-6"	14'-0" x 16'-0"	13'-0" x 17'-6"	12'-6" x 13'-6"	11'-6" x 13'-0"	17'-0" x 18'-0"	15'-0" x 16'-9"
^{lbs} 150	^{lbs} 150	^{lbs} 150	^{lbs} 156.5	^{lbs} 210	^{lbs} 220.	^{lbs} 155	^{lbs} 155
^{lbs} 155	^{lbs} 155	^{lbs} 155	^{lbs} 156.5	^{lbs} 210	^{lbs} 220.	^{lbs} 155	^{lbs} 155
^{lbs} 41'85	^{lbs} 41'85	^{lbs} 42.56	^{lbs} 40.45	^{lbs} 44	^{lbs} 43.3	^{lbs} 45.78	^{lbs} 43.08
Cylindrical single ended return	Cylindrical 4 single ended 4 double ended	Cylindrical single ended return	Cylindrical single ended return	Nielausse	Japanese Admiralty	Cylindrical single ended return	Cylindrical single ended
12	8	12	12	16	10	10	12
\$ 24000.32	\$ 24142.08	\$ 25537.14	\$ 23148.	\$ 23491.9	\$ 30527.64	\$ 23433.8	\$ 31248.
\$ 867.82	\$ 870.18	\$ 945.	\$ 792.	\$ 753.5	\$ 606.67	\$ 826.26	\$ 1148.
	40 ^T		534.15 ^T	454.58 ^T		520 ^T	511 ^T
520 ^T	514 ^T	524 ^T	521.25 ^T	263.18 ^T		560 ^T	684.352 ^T
160.2 ^T	152 ^T	196.92 ^T	214.6 ^T	47.24 ^T		161 ^T	198.648 ^T
	1070 ^T		1270 ^T	765 ^T		1241 ^T	1394 ^T
			9.84	(Design) 12.29	(Design) 13.07		

Azuma.	Yakumo.	Izumo & Iwate.	Shikishima.	Hatsuse.	Asahi.	Mikasa.	Akatsuki.	Shirakumo.
445'-10 1/2"	408'-11 1/8"	400'-0"	400'-0"	400'-0"	400'-0"	400'-0"	220'-0"	215'-9"
60'-4 7/16"	62'-4 1/16"	68'-6"	75'-6"	76'-8 1/2"	75'-2 1/2"	76'-2 1/2"	20'-6 5/16"	20'-9"
23'-7"	23'-9"	24'-3"	27'-3"	27'-0"	27'-3"	23'-1 1/16"	5'-9"	6'-10 1/8"
9307	9645.7	9750	14850	15000	15200	15120	363	372.7
20	20.5	20 1/2	18	18	18	18	31	31
16768	17700 15500	14500	15145 14500	16118 14500	16335 15000	16500 15000	6420 6500	7600 7000
Vertical 4 Cylinders triple	Vertical 4 Cylinders triple	Vertical 4 Cylinders triple	Vertical 3 Cylinders triple	Vertical 3 Cylinders triple	Vertical 3 Cylinders triple	Vertical 3 Cylinders triple	Vertical 4 Cylinders triple	Vertical 4 Cylinders triple
38 5/8" x 55 7/8" x 67 1/4" x 67 1/4"	37 3/8" x 57 1/8" x 61 1/16" x 61 1/16"	33" x 52" x 59" x 59"	34" x 53" x 84"	34" x 53" x 84"	32 1/2" x 52" x 85"	31" x 50" x 82"	20 1/2" x 31 1/2" x 34" x 34"	22" x 29 1/2" x 31" x 31"
41 1/4"	39 3/8"	39"	48"	48"	48"	48"	18"	19"
125	145	155	120	120	106	120	390	390
869.75	951.5	1007.5	960	960	848	960	1170	1235
2	2	2	2	2	2	2	2	2
15'-9" x 18'-2 7/8"	17'-4 5/8" x 16'-8"	15'-0" x 15'-6"	17'-0" x 18'-0"	17'-0" x 18'-6"	17'-9" x 20'-0"	17'-0" x 18'-0"	7'-0" x 9'-0"	6'-10 1/4" x 9'-1"
213.348 lbs	199 lbs	210 lbs	210 lbs	210 lbs	250 lbs	250 lbs	250 lbs	225 lbs
270.24 lbs	256 lbs	270 lbs	270 lbs	270 lbs	300 lbs	300 lbs	250 lbs	230 lbs
44.1 lbs	45.35 lbs	43.4 lbs	49.48 lbs	49.48 lbs	51.395 lbs	48.82 lbs	50.48 lbs	61.95 lbs
Belleville with Economisers	Belleville with Economisers	Belleville with Economisers	Belleville with Economisers	Belleville with Economisers	Belleville with Economisers	Belleville with Economisers	Yarrow	Thornycroft.
25(Hor Audiliary)	24	24	25	25	25	25	4	4
Gen. 26760. ^{\$} Econo. 11756.	Gen. & Econo. { 389736 ^{\$}	Gen. 21790. ^{\$} Econo. 13840.	Gen. 26470.86 ^{\$} Econo. 11351.5	Gen. 23166. ^{\$} Econo. 14770.	Gen. 23647.4 ^{\$} Econo. 16130.0	Gen. & Econo. { 37445 ^{\$}	13000 ^{\$}	14400 ^{\$}
1209.04 ^{\$}	1205.12 ^{\$}	1071. ^{\$}	1141. ^{\$}	1141. ^{\$}	1158.45 ^{\$}	1276.65 ^{\$}	220 ^{\$}	252. ^{\$}
600 ^T		490 ^T	585.3 ^T	585.3 ^T	660 ^T	687 ^T	50.042 ^T	77.41 ^T
546.61 ^T		587.25 ^T	612.4 ^T	612.4 ^T	736.3 ^T	675. ^T	71.873 ^T	Without Funneles 61.76 ^T
38.39 ^T		42.75 ^T	45.2 ^T	45.2 ^T	40.7 ^T	38. ^T	15.18 ^T	13. ^T
1185	1386.5 ^T	1120. ^T	1242.9 ^T	1242.9 ^T	1437. ^T	1400. ^T	137.095 ^T	152.17
	12.76		12.18	12.96	11.36	11.78	46.82	49.94

Year	Registered	Total	Registered	Total	Registered	Total
1890	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
1891	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100
1892	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
1893	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300
1894	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400
1895	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
1896	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600
1897	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700
1898	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800
1899	1,900	1,900	1,900	1,900	1,900	1,900
1900	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000

帝國海運ノ進歩

管船局長 内田嘉吉君

一、日本船舶ノ増加

明治二十年十月始メテ人民ニ西洋形ノ所有ヲ許可シテヨリ今ニ至ルマテ年ヲ閱スルコト三十有餘此間帝國ノ海運ハ著大ノ進歩ヲ爲シタリ之ヲ統計ノ示ス所ニ徴スルニ明治三年末ニ於ケル汽船ハ三十五艘登簿噸數一萬五千四百九十八噸西洋形帆船ハ十一艘登簿噸數二千四百五十四噸ニ止リタルニ明治三十五年末ニ於テハ汽船千四百四十二艘登簿噸數三十七萬八千九百八十五噸總噸數六十一萬四千六百七十九噸西洋形帆船三千九百七十五艘登簿噸數三十一萬五千九百七十七噸總噸數三十三萬六千七百七十九噸ニ達シ之ヲ明治三年末ニ比較スレハ汽船ニアリテハ千四百七十一艘登簿噸數三十六萬三千四百八十七噸西洋形帆船ニ在リテハ三千九百六十四艘登簿噸數三十一萬三千四百五十三噸ヲ増加シ之ヲ通計スレハ五千三百七十一艘登簿噸數六十七萬六千九百四十噸ヲ増加シタルモノトス

別表第一號船舶累年表ニ就キテ船舶増加ノ狀況ヲ按スルニ明治二十七年前ニ在リテハ就中明治八年明治十年明治十八年ノ各年ニ於テ汽船ノ増加セルコト頗ル顯著ナルヲ認ム是レ明治七年ニハ臺灣ノ征討アリ明治十年ニハ西南ノ戰亂アリ又明治十八年ニハ日本郵船會社ノ設立セラレハアツタルニ依ル

帝國ノ航業カ最モ顯著ナル發達ヲ爲シ我海運史上重要ノ時期ヲ成セルハ實ニ明治二十七八年日清戰役以後ノ時代ニ在リトス當時軍事輸送船ノ供給ヲ要シタルト内國ノ航海ニ船舶ノ不足ヲ告ケタルトニ因リ外國船舶ヲ購入シタルコト少カラサリシト雖テ遠洋航路ノ擴張航海獎勵法ノ施行ニ因リ我航業ハ頓ニ増進シ帝國ノ船舶殊ニ汽船ニ在リテハ大ニ其數ヲ加ヘタリ即チ明治二十五年乃至明治三十五年十一箇年間ニ於ケル汽船ノ發達ハ左表ニ示ス如ク毎年著シキ現象ヲ呈セリ

年次	前年ニ比シ増加艘數	同上總噸數	同上登簿噸數
明治二十五年	三五	一、〇一五	六、七二八
同 二十六年	三八	一、一五二	七、九〇四
同 二十七年	六五	九六、五〇四	五九、二〇九
同 二十八年	八二	六七、九五〇	四三、八〇七
同 二十九年	七三	三三、二一九	二〇、七二〇
同 三十年	一三三	六五、一九一	三九、四六八
同 三十一年	一〇〇	三八、六五一	三三、一三五
同 三十二年	八九	三二、五七七	一九、六二四
同 三十三年	一〇〇	三三、二五一	二〇、六五七

同 三十四年	同 三十五年	總計
七四	四七	八三五
四〇、七三四	二六、九三三	四五、七六六
一四、七三五	一八、四二五	二八、三四二

明治二十七八年間ニ於ケル汽船百四十七艘登簿噸數十萬三千十六噸總噸數十六萬四千四百五十四噸ノ増加ハ日清戰役ノ結果トシテ明治三十年ニ於ケル汽船百三十三艘登簿噸數三萬九千四百六十八噸(總噸數六萬五千九百九十一噸)ノ増加ハ命令航路擴張航海獎勵法施行ノ結果トシテ之ヲ認ムルヲ得ヘシ其他最近十一年間ニ於ケル進步ヲ以テ其前ニ於ケルモノニ比スルニ實ニ日ヲ同ウシテ論スヘカラサルモノアリ茲ニ明治二十五年末ヲ以テ明治三年末ニ比スレバ汽船ノ増加セルコト六百七艘登簿噸數八萬六千八百三噸ニシテ毎年平均二十七艘五登簿噸數三千九百四十五噸ヲ増加シタルニ過キス然ルニ明治三十五年末ヲ以テ明治二十四年末ニ比スレバ前表ニ示ス如ク八百三十五艘登簿噸數二十八萬三千四百十二噸ヲ増加シ毎年平均七十五艘九登簿噸數二萬五千七百六十四噸ヲ増加セリ即チ明治二十五年前二十二箇年間ニ於ケル増加ト同年後十一箇年間ニ於ケル増加ノ割合ヲ對照スレバ明治三十五年後ニ於テハ其以前ニ比シ二分ノ一ノ期間ニ於テ艘數ニ在リテハ殆ント三倍ニ達シ噸數ニ於テハ六倍ヲ超ユ長足ノ進步ト謂ハササルヘケンヤ而シテ其増加ノ特ニ著シキハ千噸以上ノ汽船ニ在ルコト蓋シ當然ノ結果ヲ以テ謂ハサルヘカラス即チ明治二十四年末ニ於ケル千噸以上ノ汽船ハ五十一艘八萬六千四百五十噸ニ止リタルガ別表第二號ニ示スカ如ク爾後毎年其數ヲ加ヘ明治三十五年末ニ至テハ

百八十二艘總噸數四十六萬九千九百五十噸ニ達シ即チ十箇年間ニ於テ艘數ハ三倍六噸數ハ五倍四ノ増加ヲ爲シタルモノトス尙之ヲ細查シテ其發達ノ顯著ナルモノヲ舉クレハ二千噸乃至三千噸ノ汽船ハ明治廿五年ニ於テハ僅ニ十艘ニ止リタルモ明治三十五年末ニハ六十艘ニ達シ三千噸乃至四千噸ノ汽船ハ明治二十五年ニ於テハ僅ニ二艘ニ止リ而カモ當時帝國船舶ノ大ナルモノハ此右ニ出ツルモノナカリシカ明治三十二年以來ハ三千噸乃至四千噸ノモノハ十七艘ニ達シタルノミナラス此外今ヤ四千噸五千噸ヲ以テ數フルモノ六艘六千噸以上ノモノ十八艘ヲ我船籍ニ列スルニ至レリ

明治二十九年以降三十五年マテニ航路ノ擴張ノ爲メ製造セラレタルモノハ三十二艘總噸數四萬八千六百七十噸ニシテ獎勵法ニ依ル航海ニ使用スル爲メ製造セラレタルモノハ二十五艘總噸數十一萬六千四百四十噸ニシテ合計五十七艘總噸數十六萬四千七百十噸トス之ヲ六箇年間ニ平均スレハ毎年十艘總噸數二萬七千四百五十二噸ノ新造ヲ見タルモノナリ

二 外國貿易ノ進歩

甲 外國貨物船ノ増加

帝國各港ニ於ケル外國貿易船出入ノ數ヲ調査スルニ明治廿四年ニ於テハ其艘數六千九百九十七艘登簿噸數六百八十九萬八千七百十七噸ニシテ明治卅五年ニ在リテハ其數一萬五千六百六十六艘登簿噸數二千三百七十七萬九千五百十九噸ニ達セリ即チ十一箇年間ニ於テ艘數ハ二倍二噸數ハ三倍四ニ増加シタルモノトス更ニ之ヲ内外船舶ニ區別シテ調査スルニ日本船舶ニシテ外

國貿易ニ從事スルモノ、出入數ハ明治二十四年ニ在リテハ三千六百九十四艘登簿噸數百八十五萬三千八百八十三噸明治三十五年ニ在リテハ九千四百七十二艘登簿噸數八百七十八萬千六百六十二噸ニシテ十一箇年間ニ於テ艘數ハ二倍六噸數ハ四倍七ニ増加セリ而シテ外國船舶ニシテ貿易ノ爲メ我國ニ出入シタルモノハ明治二十四年ニ三千三百三艘登簿噸數五百四萬八千三百三十四噸明治三十五年ニ六千四百四十四艘登簿噸數千四百三十九萬八千三百五十七噸ニシテ十一箇年間ニ於テ艘數ハ一倍九噸數二倍八ニ増加シタルニ過キス又近ク之レヲ明治二十九年以後七ケ年間ノ狀況ニ付テ之ヲ見ルニ同年ニ於テ出入シタル外國貿易ニ從事スル日本船舶ハ三千六百五十五艘登簿噸數二百三十四萬七千三百一噸外國船舶ハ六千三百三十六艘登簿噸數千八十一萬六千五百十五噸ニシテ之ヲ明治三十五年ニ比較スルニ日本船舶ハ艘數ニ在テ二倍六噸數ニ在テ三倍七ニ増加シタルモ外國船舶ハ艘數ニ在テ一倍〇〇一而シテ噸數ニ在テ僅ニ一倍三ニ増シタルニ過キス以テ近來我貿易船ノ著シク且ツ其増加ノ狀況カ外國船舶ニ比シテ優勢ナルヲ見ルヲ得ヘシ今明治二十四年乃至明治三十五年ノ十二箇年間ニ於ケル内外ノ貿易船ノ百分比例ヲ示セハ左ノ如シ

年次	船數		噸數	
	日本船	外國船	日本船	外國船
二十四年	五三	四七	二七	七三
二十五年	五〇	五〇	二六	七四
二十六年	四一	五九	二〇	八〇
二十七年	三三	六八	一四	八六
二十八年	二九	七一	五	九五
二十九年	三七	六三	一八	八二
三十年	四六	五四	二三	七七
三十一年	四八	五三	二七	七三
三十二年	五七	四三	三七	六三
三十三年	五八	四二	三五	六五
三十四年	五九	四一	三六	六四
三十五年	六一	三九	三八	六二

乙 輸出貨物ノ増加

次ニ外國貿易船カ輸出輸入シタル貨物ヲ其價格ニ依テ按スルニ明治二十四年ニ於テハ輸出七

千七百九十一萬五千六百廿七圓輸入六千二百廿四萬四千八百九十八圓合計一億四千六百五十二萬五千七百九十九圓ニ止リタルモ明治三十五年ニハ輸出二億五千七百九十九萬九千三百九十九圓輸入二億七千二百四十八萬八千七百五十六圓合計五億二千八百二十四萬七千七百九十五圓ニ達シ即チ十一箇年間ニ於ケル増加ハ輸出ニ於テ三倍三、輸入ニ於テ四倍三、貿易總額ニ於テ三倍八ニ至レリ之ヲ内外船ニ區別スレハ日本船舶ハ明治二十四年ニ於テ輸出七百七十二萬六千六百八十二圓輸入七百六十六萬千三百三十六圓合計千四百七十八萬七千八百十八圓ニ止リタルニ明治三十五年ニ於テハ輸出一億六百六十二萬五千四百三十三圓輸入九千九百三十九萬六千三百三十七圓合計二億六千一萬千八百四十四圓ニ達シ即チ十一箇年間ニ於テ輸出ニ在リテハ八十四倍九、輸入ニ在リテハ十三倍其總額ニ於テ十三倍九ノ増加ヲ爲セリ然ルニ外國船舶ノ輸送シタル貨物ノ價格ハ明治二十四年ニ於テハ輸出七千七百七十八萬八千九百四十五圓輸入五千四百五十八萬三千七百六十二圓合計一億二千五百三十七萬二千七百七圓明治三十五年ニハ輸出一億五千三百三十七萬八千四百九十六圓輸入七千八百八十五萬八千九百十九圓合計三億二千二百二十三萬六千六百十五圓ニシテ即チ十一箇年間ニ輸出ニ於テ二倍一、輸入ニ於テ三倍一、總額ニ於テ二倍六ニ増加シタルニ過キス以テ此間ニ於クル日本船舶ノ貿易上ニ於ケル進歩ノ顯著ニシテ外國船舶ニ優ルヲ見ルニ足ルヘシ今明治二十四年乃至明治三十五年十二年間ニ於テ外國貿易船カ輸送シタル貨物ノ價格ヲ内外船輸送ノ高ニ依リテ區別シ其百分比例ヲ示セハ左ノ如シ

年次	輸出		輸入		合計	
	日本船舶	外國船舶	日本船舶	外國船舶	日本船舶	外國船舶
二十四年	九	九	一一	八八	一一	八九
二十五年	八	九三	九	八七	一〇	九〇
二十六年	八	九二	九	九一	八	九二
二十七年	五	九五	一〇	九〇	八	九二
二十八年	三	九七	三	九七	三	九七
二十九年	一	八九	一	八八	一	八八
三十年	一五	八五	三三	七八	一九	八一
三十一年	二五	七五	二五	七五	二五	七五
三十二年	三三	六九	三四	六六	三三	六七
三十三年	三三	六八	三〇	七〇	三三	六九
三十四年	三七	六三	三五	六五	三六	六四
三十五年	四二	五九	三七	六三	三九	六一

三百七十二

丙 内商輸出入ノ増加

子依リ我外國貿易ノ發達ヲ調査スルニ其内商ニ依ルモノハ明治二十四年ニ於テ輸出入八百七萬

七百六十五圓輸入千四百二十七萬六千三百八十八圓合計二千三百四萬七千四百四十五圓ナリシニ
 明治三十三年ニハ輸出七千三百三十八萬千六百三十五圓輸入一億千二百七十三萬七千五百十圓
 合計一億八千六百一十一萬八千六百八十五圓ニ達シ即チ十箇年間に於テ輸出ニ在リテハ八倍三
 輸入ニ在リテハ七倍八總額ニ於テ八倍〇七ノ増加ヲ爲セリ而シテ其外商ニ依ルモノハ明治二
 十四年ニ於テ輸出六千九百十四萬四千八百六十二圓輸入四千七百六十九萬二千八百三圓合計
 一億一千六百八十三萬七千六百六十五圓明治三十三年ニハ輸出一億二千四百六十八萬九千九百
 十二圓輸入一億七千三百四十三萬三千八百八十三圓合計二億九千八百一十一萬五千七百九十五
 圓ニシテ十箇年間に於ケル増加ハ輸出ニ於テ一倍八輸入ニ三倍六總額ニ於テ二倍五ニ過キス
 内商ノ從事スル貿易カ著大ナル發達ヲ爲シ且ツ其進歩ノ割合ハ外商ニ比シテ優勢ナルヲ見ル
 ヘシ明治二十四年乃至明治三十三年十年間ニ於テ内外商カ輸出入シタル貿易品ノ價格ヲ内外
 商ノ區別ニ依リ其百分比例ヲ示セハ左ノ如シ

年次	輸出		輸入		合計	
	内商	外商	内商	外商	内商	外商
二十四年	二	八九	三三	七七	一六	八四
二十五年	一三	八七	一〇	八〇	一六	八四
二十六年	一五	八五	一九	八一	一七	八三
二十七年	一八	八三	二九	七七	二四	七六

四百七十三

三百七十三

年次	輸出		輸入		合計	
	内商	外商	内商	外商	内商	外商
二十八年	二〇	八〇	三二	六九	二五	七五
二十九年	二六	七四	三〇	七〇	二八	七三
三十年	二八	七三	三六	六四	三三	六七
三十一年	三三	六六	三三	六七	三三	六七
三十二年	三五	六五	五九	六七	三六	六三
三十三年	三七	六三	六一	六二	三八	六二

三、外國ニ於ケル日本船舶

次ニ進ンテ海外ニ於ケル我船舶ノ占ムル地步如何ント願ルニ、先ツ清國ニ就テ之ヲ見レハ同國各開港ニ入出港シタル航洋船清式帆船ヲ除クハ明治二十九年ニ於テハ三萬四千四百四十三艘三千三百二十二萬八千七百七十三噸明治三十五年ニ於テハ六萬二千二百九十八艘五千三百五十八萬五千七十二噸ニシテ六箇年間ニ於テ艘數一倍入、噸數一倍六ニ増加セリ、而シテ之ヲ内外船ニ依テ區別スルニ日本船舶ハ明治二十九年ニ於テ五百四十六艘五十六萬五千九百九十二噸ニ止リタルカ明治三十五年ニハ六千八百九十八艘七百三十五萬五千五百五噸ニ増加シ外國船舶ハ明治二十九年ニ於テ三萬三千八百九十七艘三千二百六十六萬二千七百八十一噸ヨリ明治三十五年ニハ五萬四千四百艘四千六百二十三萬五千七百七噸ニ増加セリ、右六箇年間ニ於ケル増加ハ日

本船舶ハ艘數ニ於テ十倍三噸數ニ於テ十倍三ノ多數ニ上リ外國船舶ハ艘數ハ艘數ニ於テ一倍六噸數ニ於テ一倍四ニ上レリ、今茲ニ右内外船ノ百分比例ヲ示セハ左ノ如シ

年次	艘數		噸數	
	日本船舶	外國船舶	日本船舶	外國船舶
二十九年	三	九八	九八	三
三十年	三	九八	九八	三
三十一年	三	九五	九五	五
三十二年	九	九一	九一	八
三十三年	九	九二	九二	二
三十四年	一三	八八	八八	一三
三十五年	一三	八七	八七	一六

本表ノ示ス所ニ依レハ比例上日本船舶ハ艘數ニ於テ六倍強噸數ニ於テ八倍ノ進歩ヲ爲セルモノト謂フヘシ、又日本船舶カ清國各港ノ出入ニ依テ輸入シタル貨物ノ價格ヲ按スルニ、明治二十九年ニ於テハ輸入千七百三十九萬百二十三兩輸出千三百三十七萬八千八百五十四兩合計二千八百七十六萬八千九百七十七兩ニ止リタルモ明治三十五年ニ於テ輸入三千五百三十四萬二千二百八十三兩輸出二千八百七十二萬八千二百九十四兩合計六千四百七十七萬五千七百七十七兩ニ達セリ

此六箇年間ニ於ケル増加ハ輸出ニ於テ二倍五輸入ニ於テ二倍ニ當レリ。
 轉シテ韓國ニ就テ之ヲ見ルニ同國各港ニ入港シタル船舶和船、蓬船、韓船ヲ除クハ明治二十九年
 ニ於テハ八百五十三艘四十七萬四千二百二十五噸、明治三十四年ニ於テハ三千七百四十四艘九
 十六萬五千五百六十二噸ニシテ五箇年間ニ於テ艘數四倍三噸數二倍三ニ増加セリ、而シテ之ヲ
 内外國船ニ區別スルニ日本船舶ハ明治二十九年ニ於テ五百八十艘四十萬六千二百二十五噸ニ止リ
 タルカ明治三十四年ニハ二千三百六十五艘七十九萬千六百噸ニ増加シ外國船舶ハ明治二十九
 年ニハ二百七十三艘七萬三千六百噸ニシテ明治三十四年ニハ千三百七十九艘十七萬四千四百
 五十六噸ニ増加セリ、即チ五箇年間ニ於テ日本船舶ハ艘數ニ於テ四倍二噸數ニ於テ一倍九ノ増
 加ヲ爲セリト雖モ、尙外國船舶カ艘數ニ於テ五倍噸數ニ於テ二倍三ヲ増加シタルニ及ハサルヲ
 遺憾トス、今茲ニ右内外船ノ百分比例ヲ示セハ左ノ如シ

年次	艘數		噸數	
	日本船舶	外國船舶	日本船舶	外國船舶
二十九年	六八	三三	八四	一六
三十一年	六三	三六	七六	二四
三十三年	六二	三九	八二	一八

三十四年	六三	三七	八二	一八
------	----	----	----	----

日本船舶ハ明治二十九年ニ於テ八十艘、十四萬六千三百十五噸ニ止リシカ明治三十三年ニハ三
 百十四艘、六十四萬九千二百八十八噸ニ増加シ外國船舶ハ明治二十九年ニハ三千五百五艘四百二
 十三萬六千八百八十二噸ナリシカ明治三十三年ニハ三千四百八十八艘、四百五十二萬六千三百噸ト爲リ
 即チ五箇年間ニ於テ日本船舶ハ艘數ニ於テ三倍九噸數ニ於テ四倍四ヲ増加シタルモ外國船舶
 ハ艘數ニ於テ二分弱ヲ減シ噸數ニ在テ一倍〇六ヲ増加シタルニ過キス、今毎年香港ニ入港シタ
 ル内外汽船ノ百分比例ヲ示セハ左ノ如シ

年次	艘數		噸數	
	日本船舶	外國船舶	日本船舶	外國船舶
二十九年	三	九七	三	九七
三十一年	五	九五	七	九三
三十三年	七	九三	二	八九
三十四年	一〇	九〇	四	八六
三十五年	九	九二	三	八七

終リニ蘇士運河通航船舶ノ狀況ヲ調査シ以テ日本船舶ノ歐洲地方ニ對スル交通ノ發達ヲ説明
 セントス、同運河通航船舶ノ數ハ明治二十九年ニ於テ三千四百九艘、千二百三萬九千八百五十九
 噸ニシテ、其内通航船舶ノ全體ニ對シ我船籍ニ屬スルモノハ僅ニ十艘、四萬二千六百九十五噸ニ

止リ其艘數ニ於テ千分ノ二強其噸數ニ於テ千分ノ三強ニ過キス而シテ明治三十五年ニ至テハ同運河通航船總計三千七百〇八艘千五百六十九萬四千三百五十九噸ノ内六十二艘三十三萬五千五百六十二噸ハ我國旗ノ下ニ屬スルモノニシテ通航船舶ノ全體ニ對シ艘數ハ千分ノ十六強噸數ハ千分ノ二十一強ヲ占ムルニ至レリ之ヲ外國船舶ニ比スレハ及ハサルコト尙遠シト雖モ一段ノ進歩ヲ爲シタルモノト謂ハサルヘカラス、今茲ニ右六箇年間ニ於ケル通航船舶ノ艘數ヲ百トシ日本船舶ノ之ニ對スル割合ヲ舉クレハ左ノ如シ

年次	艘數	噸數
二十九年	〇、三九	〇、三五
三十年	一、三三	一、四九
三十一年	一、三三	一、〇三
三十二年	一、八〇	二、三三
三十三年	一、八三	二、五六
三十四年	一、五四	二、三二
三十五年	一、六四	二、一一

第一號

汽船及帆船累年表

年次	汽船		帆船	
	艘數	總噸數	艘數	總噸數
明治三年	三五	?	一一	?
四年	七一	?	三二	?
五年	九六	?	三五	?
六年	一一〇	?	三六	?
七年	一一八	?	四一	?
八年	一四九	?	四四	?
九年	一五九	?	五一	?
十年	一八三	?	七五	?
十一年	一九五	?	一三三	?
十二年	一九九	?	一七四	?
十三年	二二〇	?	三三九	?
十四年	二九八	?	三七九	?

年次	汽船		帆船	
	船數	總噸數	船數	總噸數
十五年	三四四	?	四二六	?
十六年	三九〇	?	四一九	?
十七年	四二二	?	四〇二	?
十八年	四六一	九五,九七五	五〇九	五七,二九三
十九年	四六〇	一〇〇,一二二	六八八	六〇,三二八
二十年	四八六	一一五,三六五	七九八	六四,四一六
二十一年	五二四	一二九,八三六	八九六	六七,五二九
二十二年	五六三	一四一,八〇五	八四三	五七,六二四
二十三年	五八五	一五〇,〇五八	八六五	五四,九八九
二十四年	六〇七	一五四,七四九	八三三	五三,三八七
二十五年	六四二	一六五,七六四	七八〇	四九,〇八五
二十六年	六八〇	一七六,九一五	七四九	四八,三〇三
二十七年	七四五	二七三,四一九	七三二	四六,九五九
二十八年	八二七	三四一,三六九	七〇二	四四,七九四
二十九年	八九九	三七三,五八八	六四四	四一,四四一

年次	二千噸以上	三千噸以上	四千噸以上	五千噸以上	六千噸以上	以六千噸以上	艘數合計	總噸數合計
三十年	一,〇三三	四三八,七七九	二七三,四〇九	七二五	四八,一三〇	四五,一三七	一,〇三三	四,五二七
三十一年	一,一三三	四七七,四三〇	二九五,五四四	一九一四	一七〇,八九四	一五九,九四八	一,一三三	五,〇三三
三十二年	一,一三三	五二〇,〇〇七	三二五,八二五	三,三三三	二八六,九三三	二六九,〇三三	一,一三三	五,〇三三
三十三年	一,三三三	五四三,三三八	三三五,八二五	三,八五〇	三三〇,七七一	三〇〇,七五七	一,三三三	五,〇三三
三十四年	一,三九五	五八三,五三三	三六〇,五六〇	四,〇二〇	三三六,四三六	三二一,六六七	一,三九五	五,〇三三
三十五年	一,四四二	六〇四,六六五	三七八,九八五	三,九七五	三三六,二七九	三二五,九〇七	一,四四二	五,〇三三

本表ハ登簿船及不登簿船ノ調査トス但シ三十五年ノ末ノ不登簿船ハ調査結了セルヲ以テ同六月末現在ヲ掲ク

第二號

千噸以上汽船最近十箇年比較

年次	二千噸以上	三千噸以上	四千噸以上	五千噸以上	六千噸以上	以六千噸以上	艘數合計	總噸數合計
二十五年	三九	一〇	三	一	一	五二	八六,四五九・二	
二十六年	四三	一一	三	一	一	五六	九五,七四八・四三	
二十七年	三五	二九	九	二	一	八七	一八三,七二二・八	
二十八年	五八	四〇	一三	二	一	一一四	二四二,九〇一・四五	

年次	二千噸以上	三千噸以上	四千噸以上	五千噸以上	六千噸以上	以六千噸以上	艘數合計	總噸數合計
二十九年	六	四	一	二	一	一	一三六	二六五、九六〇・三
三十年	六	四	一	二	一	七	一四〇	三二二、九七八・五
三十一年	六	四	一	二	一	一三	一四四	三五七、〇八六・〇
三十二年	六	四	一	三	一	一五	一四八	三八二、三九九・四
三十三年	七	五	一	三	一	一六	一五九	四一〇、五三七・四
三十四年	七	五	一	三	一	一八	一七〇	四四三、七三三・六
三十五年	八	六	一	四	一	一八	一八三	四六九、九五〇・〇

三百八十二

附錄

海軍關係人名錄

○官吏

一般海軍ニ最モ密接ノ關係アル者
ノミニ止ム

海軍大臣 海軍省總務長官 海軍省令部長 常備艦隊司令長官 橫須賀鎮守府司令長官 吳鎮守府司令長官 佐世保鎮守府司令長官 舞鶴鎮守府司令長官	海軍中將男爵 山本權兵衛 東京、芝、高輪 海軍少將 齋藤實 東京、芝、溜池靈南坂 海軍大將子爵 伊東祐亨 東京、芝、高輪 海軍中將 東郷平八郎 海軍大將男爵 井上良馨 海軍中將 柴山矢八 海軍中將 島員規 海軍中將 日高壯之丞	海軍水路部長 海軍大學校長 海軍兵學校長 遞信大臣 遞信省總務長官 管船局長 商船學校長 東京海軍局長 大阪海軍局長	海軍少將 肝付兼行 東京、麹町、下二番 海軍少將 坂本俊篤 東京、芝、芝公園 海軍少將 東郷正路 東京、芝、新濱 大浦兼武 東京、東橋、遞信大臣官舎 田健治郎 東京、芝、新濱 内田嘉吉 東京、麹町、下二番 海軍大佐 平山藤次郎 東京、芝、田町七 山邊勇輔 東京、麹町、有樂三 荒川重秀 大阪、東區、森ノ宮四ノ町	長崎海軍局長 函館海軍局長 航路標識管理所長 新潟海務署長 橫濱海務署長 鳥羽海務署長 石卷海務署長 伏木海務署長 清水海務署長心得 浦賀海務署長 半田海務署長 神戸海務署長	富山久米吉 長崎、山來大工町 吉田有年 函館、船見町 草間時福 橫濱、北仲通官舎 打木徳三郎 新潟、四大畑町 宮廻惣太郎 橫濱、青木町 兒玉徳太郎 三重、鳥羽 家越禮藏 宮城、石巻、鰯山 井口象吉 富山、伏木 高部乾吉 静岡、清水 太田喜代二郎 神奈川、浦賀 熊谷柳太郎 愛知、半田 堤正義 神戸、下山手通四
--	---	--	--	--	---

三百八十三

高知海務署長 石井三郎
 多度津海務署長心得 小田莊作
 糸崎海務署長 大田勇之進
 三津濱海務署長心得 鎌田豐之助
 下關海務署長 矢田下次
 境海務署長 假屋民雄
 口之津海務署長 鈴木信三郎
 鹿兒島海務署長心得 坂井勝寛
 小樽海務署長 國行敬道
 農商務省水産局長 牧朴真
 水産講習所監事 松原新之助
 神奈川縣港務部長代理 谷口留五郎
 兵庫縣港務部長 藤井治三郎
 長崎縣港務部長 河村弘貞
 福岡縣港務部長 瀧間武二

○公共團體

帝國海事協會副總裁 近衛篤磨
 帝國海事協會理事 有地品之允
 帝國海事協會理事 加藤正義
 帝國海事協會理事 金山尚志
 帝國海事協會理事 武井守正
 帝國海事協會理事 小川鏞吉
 帝國海事協會理事 佐藤秀顯
 帝國海事協會理事 赤松則良
 帝國海事協會理事 前島周造
 帝國海事協會理事 塚田小日向
 帝國海事協會理事 若野總一郎
 帝國海事協會理事 淺野總一郎

○海商業者

航海、造船及水産等ニ關スル主要ナル海
 商業者ヲ指シ、但シ登録汽船二艘以上所有
 者ハ別項ニ詳カナルヲ以テ之ヲ省ケリ

日本郵船株式會社 岩永省一
 三菱會社社長 岩崎久彌
 船員機械商 岩崎友次郎
 同 岩津太兵衛
 同 尾張名古屋管原三
 同 山本幸助
 同 岩永總平
 同 肥前、南松浦、有川
 同 飯盛鶴一郎

同漕業兼海產物商 岩佐彌平
 同漕業兼委託買賣商 岩井善五郎
 日本郵船株式會社監查役 飯田一景
 三井物産會社理事 飯田義一
 日本海上運送保險株式會社東京支店長 飯尾麒太郎
 東洋汽船株式會社社長 飯岡新吉
 同 漕業 飯岡新吉
 隅田川汽船株式會社會長 今井喜八
 日本海上運送保險株式會社取締役 今井勢兵衛
 岩崎今井會社 今井友次郎
 備後船渠株式會社社長 今井富三郎
 東京船渠株式會社社長 石塚正治
 橫濱船渠株式會社監查役 石川徳右衛門
 直江津船渠株式會社社長 石塚六三郎
 博多汽船株式會社社長 石田篤滿呂
 附錄 海事關係人名錄

○保險及船積貨物仲立業

船積貨物仲立業 石川雄吉
 船積貨物仲立業 石崎正富
 船積貨物仲立業 石崎正厚
 船積貨物仲立業 石崎熊吉
 船積貨物仲立業 石崎平八郎
 船積貨物仲立業 石田平吉
 船積貨物仲立業 石橋惣太郎
 船積貨物仲立業 石塚甚藏
 船積貨物仲立業 長崎、江戶
 船積貨物仲立業 稻井永敏
 船積貨物仲立業 池田庄吉
 船積貨物仲立業 池田石藏
 船積貨物仲立業 池田喜太郎
 船積貨物仲立業 池田南一
 船積貨物仲立業 伊庭貞剛
 船積貨物仲立業 伊東市太郎
 船積貨物仲立業 下總、匝瑳、野田村
 船積貨物仲立業 伊藤常次郎
 船積貨物仲立業 名古屋、關市、關市町

○運送業兼造船業

運送業兼造船業 磯邊包義
 運送業兼造船業 磯部松藏
 運送業兼造船業 市島益三
 運送業兼造船業 越後、北浦原郡、葛塚
 運送業兼造船業 井上善次
 運送業兼造船業 井上角五郎
 運送業兼造船業 井田一平
 運送業兼造船業 東京、日本橋、新米
 運送業兼造船業 井上藤太郎
 運送業兼造船業 井上治郎助
 運送業兼造船業 色川三郎兵衛
 運送業兼造船業 越中、射水、三塚村
 運送業兼造船業 一柳平太郎
 運送業兼造船業 犬飼勇四郎
 運送業兼造船業 尾張、愛知、熱田町
 運送業兼造船業 五百井長平
 運送業兼造船業 大阪、西南、江上通

船業	入交榮治	伊豫、高知、竹代	浮津捕鯨株式會社	濱篤次	造船業	新隈政次郎
同	板谷吉左衛門	加賀、江沼、瀨越	北海道炭礦鐵道株式會社	波多野承五郎	船業	大阪、四、川南、難波
同	板谷吉五郎	加賀、江沼、瀨越	監査役	東、西、野、上、三番	同	淡路、赤磯、上郡
同	板谷勘右衛門	能登、國玉、御地村	輸入商船底漆料販賣業	長谷川鐵三郎	同	西本彦左衛門
同	春田源之丞	東京、牛込、東五軒	船具機械輸入兼鐵工造船業	馬場壽	同	周防、大島、和田
日本郵船株式會社東京支店長	原田金之助	大阪、北、網島	船具機械輸入兼鐵工造船業	東、西、橋、南、金、六	同	西村熊太郎
日本郵船株式會社大阪支店長	原田兼作	武藏、荏原、品川	船具機械輸入兼鐵工造船業	神戶、播磨	同	西出孫右衛門
東洋汽船株式會社取締役	原田保次	長崎、善寺十八	船具機械輸入兼鐵工造船業	土佐、高知、堺	同	加賀、江沼、瀨越
那珂川汽船株式會社取締役	林民雄	加賀、江沼、大聖寺村	船具機械輸入兼鐵工造船業	豐前、門司	同	西村忠左衛門
艦船賣込業	馬場道久	越中、上新川、東岩瀬	船具機械輸入兼鐵工造船業	新、美、治、郎、八	同	能登、羽咋、一宮
日本郵船株式會社上海支店長	服部兵助	名古屋、大船	船具機械輸入兼鐵工造船業	尾張、知多、龜崎	同	能登、羽咋、一宮
日本海上運送保險株式會社監査役	濱多與五郎	早川權次郎	船具機械輸入兼鐵工造船業	尾張、知多、成岩	同	能登、羽咋、一宮
名古屋船株式會社社長	堀川半左衛門	堀川、半左衛門	船具機械輸入兼鐵工造船業	丹保、佐吉郎	同	能登、羽咋、一宮
魚津水産株式會社取締役	東條三郎	越中、射水、伏木	船具機械輸入兼鐵工造船業	大谷嘉兵衛	同	能登、羽咋、一宮
水橋商船株式會社社長	說田彦助	東京、日本橋、越前、二	船具機械輸入兼鐵工造船業	橫濱、元濱、二	同	能登、羽咋、一宮

回漕兼委託賣買業	堀川半左衛門	堀川、半左衛門	船業	大谷嘉兵衛	造船業	大和田莊七
日本郵船株式會社社長	東條三郎	越中、射水、伏木	船業	小笠原壽長	船業	大坪嘉太郎
支店長	說田彦助	東京、日本橋、越前、二	船業	渡邊福三郎	同	大阪、四、立、買、彌、南、六
日本商船株式會社社長	富岡俊次郎	東京、芝、網一	船業	渡邊甚吉	同	大島六郎
合名會社彌富商會社員	豐田善右衛門	大阪、東、高麗橋、詰	船業	美濃、岐、早、松、尾、二	同	太田貞一
大阪商船株式會社取締役	土橋多四郎	攝津、武庫、今津	船業	尾城滿友	同	太田正一
日本海上運送保險株式會社監査役	殿村平右衛門	大阪、東、内、平、野、二	船業	東京、日本橋、小網、二	同	岡本與一郎
株式會社川崎造船所	外山脩造	大阪、北、中、島、二	船業	東京、赤坂、八郎	同	岡本馬造
關門汽船株式會社社長	德永安兵衛	長門、下關、觀音崎	船業	東京、東橋、箱、屋	同	岡本利助
同	德岡祐三郎	東京、京橋、南、新、堀、二	船業	岡崎藤吉	同	三河、新、利、助
同	戶田宗吉	神戶、海岸、通、二	船業	大内七兵衛	同	三河、新、利、助
同	富本武之助	北海道、函館、米、廣	船業	大崎、北、島	同	小野清吉
同	千々岩英一	新潟、天、渡、解、株式、會、社、長	船業	大崎、東、上、本、十	同	大阪、西、難、波、島、中、口
帝國海上運送保險株式會社大阪支店長	小幡篤次郎	靜岡、株式、會、社、取、締、役	船業	小澤七太郎	同	大島兵太郎
日本郵船株式會社監査役	大崎宗恭	東海、漁、業、株式、會、社、取、締、役	船業	小川善五郎	同	神戶、海岸、通、二
日本郵船株式會社小樽支店長	海事關係人名錄		船業	大石甚兵衛	同	小川傳次郎

同 渡業兼委託販賣業	大谷友次郎 新瀨下大川前通三	株式會社川崎造船所 副社長	川崎芳太郎 神戶、加納一	內國通運株式會社主事	吉村佐平 東京、神田、和泉
同 渡業	大內清藏 羽後、飽海、酒田船場	株式會社川崎造船所 取締役	川上左七郎 大阪、北若松	富士貿易會社代表	四屋章之 東京、牛込、市ヶ谷
東洋汽船株式會社監查役	奧村七三郎 羽後、飽海、酒田船場	株式會社川崎造船所 顧問	川崎正藏 神戶、加納一	同 渡業	吉田保太郎 東京、日本橋、新木
三井物産會社理事	若尾幾造 橫濱、本四	下川海產株式會社社長	金藤藤左衛門 神戶、加納一	同 渡業	吉野友次郎 東京、日本橋、小網一
富田水産株式會社事務	渡邊專治郎 英國、倫敦	新湊汽船株式會社社長	金木喜三 河野勇	同 渡業	四方長七 東京、日本橋、小網一
船具機械商	渡邊紋左衛門 橫濱、境一	大瀨船船株式會社社長	川真田市兵衛 阿波、鹿嶋、鴨島	同 渡業	吉田俱之助 下總、海上、鎌子
船 業	渡邊貞次郎 橫濱、境一	阿波國共同汽船株式會社 社長	鎌田直三郎 阿波、鹿嶋、鴨島	同 渡業	横山慶爾 下總、海上、鎌子
同	渡邊清次郎 東京、本郷、元町一	阿波國共同汽船株式會社 社長	伊勢四日市、北條 加藤善四郎	同 渡業	谷井保 土佐、高知、八百屋
日本郵船株式會社副社長	加藤正義 東京、麹町、元町	大東汽船株式會社社長	嘉納福之助 大阪、東、高麗橋一	同 渡業	田代庄藏 東京、日本橋、越前
東京海上保險株式會社 營業部長	河瀬秀治 東京、麹町、四番	帝國海上運送保險株式 會社社長	勝田銀次郎 神戶、海岸通	同 渡業	田邊爲三郎 備前、港口、長尾
日露貿易株式會社社長	加賀精一 大阪、北、安治川南二	株式會社東京石川島 造船所監查役	神戶慶藏 神戶、北邊瀨川	同 渡業	武井守正 東京、本郷、湯島三組
大阪石炭貯株式會社 取締役	川田龍吉 東京、牛込、新小川二	株式會社大倉組副頭取 造船所監查役	加藤藤吉 北海、道、函館、富岡	同 渡業	田中永昌 東京、麹町、永田二
橫濱船渠株式會社社長	上西宗兵衛 東京、牛込、新小川二	大阪商船株式會社取締役	吉村甚兵衛 東京、牛込、市ヶ谷、砂土原	同 渡業	高島小金次 東京、麹町、永田二
株式會社事務取締役				同 渡業	田中六兵衛 大阪、西、靱北一

大阪商船株式會社神戶 支店長	竹内直哉 大阪、北、高島	函館船渠株式會社監查役	田中市太郎 大阪、西、靱北一	同 渡業	高宮要藏 豐前、門司、港
攝津航業株式會社事務 取締役	辰榮之助 攝津、武庫、西宮	外國貿易代辦及船業	谷津菊右衛門 北海、道、函館、船場	同 渡業	忠谷久五郎 加賀、江、橋立
長崎汽船株式會社 取締役	竹内重吉 谷、口、賢次郎	同 渡業	高田慎藏 東京、麹町、有樂一	同 渡業	谷三郎 加賀、金澤、下堤
關内汽船株式會社社長	近江大津、南保	同 渡業	東京、日本橋、西川岸	同 渡業	竹内林造 越中、射水、伏木
鹽釜水産株式會社取締役	高橋徳右衛門 隣前、栗原、若柳	同 渡業	高木七五郎 高濱、元濱二	同 渡業	田村惟昌 越中、射水、伏木
因島船渠株式會社社長	田坂初太郎 東京、芝、下高橋	同 渡業	玉浦國太郎 橫濱、港二	同 渡業	高橋達太 越後、西頸城、直江津
宇和島運輸株式會社 副社長	玉置金次郎 東京、芝、下高橋	同 渡業	田中利喜藏 橫濱、元二	同 渡業	田代三吉 如、湯、上大川前通四
土佐水産株式會社社長	竹村太郎 土佐、高岡、高名	同 渡業	尾張知多、常滑	同 渡業	竹内長久郎 羽後、南秋田、土崎下
合名會社谷口加藤商會 社員	谷口與四郎 豐前、門司、內濱	同 渡業	大阪、東、今橋一	同 渡業	忠谷久五郎 北海道、函館、大
北海道炭礦鐵道株式會社 社長	高島嘉右衛門 橫濱、尼上五	同 渡業	高見善兵衛 神戶、神明	同 渡業	高森忠藏 北海道、函館、船場
北海道炭礦鐵道株式會社 取締役	田中平八 東京、麹町、內幸一	同 渡業	高川宗一郎 淡路、赤穂、坂越	同 渡業	田中與七 北海道、函館、豐川
北海道炭礦鐵道株式會社 取締役	田中信七 橫濱、老松一	同 渡業	高川宗十郎 淡路、赤穂、坂越	同 渡業	高野源之助 北海道、小樽、邑内
同	田島信夫 東京、麻布、宮村	同 渡業	多田マツ 安藝、安藝、瀬戸島	同 渡業	竹森伴助 北海道、小樽、港
同	團琢磨 東京、赤坂、丹後	同 渡業	高橋直吉 長門、下關、西ノ端	同 渡業	園田孝吉 東京、芝、白金三光
同		同 渡業	高戸哲太郎 豐前、門司、港	同 渡業	

附錄 海軍關係人名錄

曳船業	柳井清兵衛 長門、下關、阿蘇、鹿野	洲崎養魚株式會社社長	前田直行 東京、本郷、本富士	銅鐵商兼船舶業	榎谷平三郎 大阪、西、立賣、北通
回漕業	山本竹次郎 長門、下關、西、南	三井物産合名會社事務 理事	益田孝 東京、荏原、品川	造船業	前川留吉 大阪、西川、南、渡、島
回漕兼石炭商	柳邊利八 豐前、門司、津	大阪商船株式會社仁川 支店長	前原巖太郎 松方幸次郎 神戶、山本、四	回漕業	松井善次郎 神戶、榮、四
船業	山崎喜平治 肥前、北松浦、小佐々	志摩汽船株式會社取締役 取締役	松井仙右衛門 松城兵作 伊豆、田方、戸田	石炭商兼海運業	松尾敬章 豐前、門司、橋、通
委託賣買兼回漕業	山本貞次郎 伯耆、西伯、境	豆州共同汽船株式會社 取締役	松田松治郎 伊豫、喜多、長濱	回漕業	松本健次郎 鎮前、遠賀、若松
回漕業	山下五右衛門 越前、敦賀	汽船株式會社社長	增岡專平 北海道、右、珠、伊、達	同	松井久三郎 長崎、樺、島
船業	山本元吉 能登、羽咋、西海	噴火汽船株式會社社長	收田以三 東京、日本橋、小網、一	船舶賣込商	松本文一 長崎、元、馬、込
同	山下久之助 越中、下、新、川、魚、津、橋	同漕業兼委託賣買業	眞野幾三郎 東京、日本橋、小網、二	海產物商兼回漕業	松村留次郎 北海道、厚、岸、霧、多、布、丁、通
東京汽船株式會社 事務監督	松本英忠 東京、京橋、采女	回漕業	松永平次郎 橫濱、海岸、通、四	同	古川孝七 東京、本、所、中、ノ、郷、八、軒
東京汽船株式會社監査役	前島密 東京、小石川、關口	海運運送兼通關取締役	松本鈴之助 橫濱、蓬、萊、一	同	二橋元長 東京、南、葛、飾、隅、田
東京汽船株式會社社長	町井省三 東京、日本橋、小船、一	回漕業	增田萬吉 橫濱、花、吹、七	同	藤本清七 大阪、東、高、麗、橋、詰
東京汽船株式會社事務 取締役	松村祥一郎 東京、芝、南、佐、久、間、一	潜水請負業	間瀬昇太郎 尾張、知、多、龜、崎	同	藤田平太郎 大阪、北、網、島
東京海上保險株式會社 監査役	益田克徳 東京、下、谷、下、根、岸	船舶業			

日本海上運送保險株式 會社取締役	福永庄七 大阪、北、堂、島、船、大、工	海運業	藤田簡吉 新潟、上、大、川、前、通、十、番	同	小杉吉次郎 大阪、東、道、修、一
小濱汽船株式會社取締役	古河勘三郎 船渡政助	日本郵船株式會社社長	近藤廉平 東京、牛、込、市、谷、田、一	同	小栗松三郎 神戶、川、崎
南洋貿易日置株式會社 事務取締役	深川文十 藤田又六	日本郵船株式會社下關 支店長	肥塚求巳 東京、赤、坂、一、ツ、木	同	後藤勝藏 神戶、海、岸、通、三
大川運輸株式會社社長	藤田又六 筑後、三、池、開	株式會社石川島造船所 監査役	兒玉少介 東京、麴、町、內、幸、一	同	小松龍太郎 土佐、高、知、浦、戶
三池水産石炭合資會社 社長	藤村紫朗 肥後、熊、本、千、反	大阪商船株式會社監査役	小平道三郎 小園恒次郎	同	兒玉喜三 備後、尾、ノ、道、土、堂
肥後汽船株式會社事務 取締役	舟越勇夫 東京、芝、芝、口、一	大阪商船株式會社釜山 支店長	小西平吉 橫濱、宮、崎	同	小林只之助 安藝、豐、田、大、崎、島、中
船舶仲立業	菅木重助 東京、京、橋、東、湊、一	南海運送株式會社社長	近藤喜祿 大阪、西、立、賣、堀、北、西	同	寺見機一 長崎、梅、ヶ、崎
船具商兼回漕業	福壽耕助 橫濱、海岸、通、二	日本海上運送保險株式 會社社長監査役	小西平吉 大阪、西、立、賣、堀、北、西	同	寺田初三郎 長崎、江、戶
同	古橋義一 大阪、西、上、通、三	合資會社日本貿易商會 業務擔當社員	小西秀三 橫濱、宮、崎	同	淺田正文 東京、下、谷、芽
船川器具及海軍圖書 販賣業	福井清司 大阪、西、南、堀、江、上、通	合資會社甲田商店業務 擔當社員	小出喜七郎 橫濱、宮、崎	同	有馬武 東京、麴、町、下、六、番
船業	藤岡松太郎 安藝、安、藝、瀬、戸、島	株式會社安進社社長	護得久朝惟 琉球、那、霸、東	同	淺野總一郎 東京、深、川、清、住
回漕業	福島福松 長崎、江、戶	廣運株式會社社長	小泉格次郎 東京、日、本、橋、新、堀、六	同	阿部彦太郎 大阪、北、堂、島、船、一
運送業兼石炭商	深山熊次郎 長崎、大、浦、郷	同	小栗長太郎 東京、日、本、橋、新、堀、六	同	天野伊左衛門 大阪、北、堂、島、船、一
回漕業	二田三五郎 越中、射、水、新、湊	同	尾張知多半田	同	尾張知多龜崎

附錄
海平關係人名錄

浦賀船渠株式會社取締役	阿部彦太郎	船業	荒木喜平	東北水産株式會社社長	佐賀清太郎
浦賀船渠株式會社監査役	荒井郁之助	回漕業	淡路津名、伏野	船具機械商	佐藤政五郎
大阪商船株式會社監査役	阿部克太郎	同	秋田松次郎	造船兼海通業	澤村久右衛門
大阪商船株式會社事務	朝田又七	同	長門下關、西南郡	船業	相模、加茂、下山
兵庫運輸株式會社社長	有馬市太郎	同	長門下關、西南郡	回漕業	澤田善助
知多航業株式會社社長	神戶、川崎	同	越中、水代、木湊	同	尾張、知多、古場
水橋水産株式會社社長	天木嘉祐	同	阿部、要吉	同	尾張、愛知、熱田
北海道炭礦鐵道株式會社	相川平三郎	船業	北海道、南前、船場	同	坂井銚次郎
取締役	雨宮敬次郎	回漕業	北海道、函館、若松	同	神戶、元町通一
函館船渠株式會社取締役	東京、麹町、飯田三	同	北海道、函館、東濱	同	佐藤勇太郎
同	阿部、興人	同	北海道、小樽、南濱四	同	神戶、榮一
同	阿部、謙三	同	北海道、小樽、南濱四	同	阪本、金彌
同	東京、日本橋、小網三	同	西園寺公威	同	備前、阿市、上西川
同	安達、平吉	同	東京、京橋、木挽一	同	佐久間、強平
同	北海道、札幌、西北條	同	櫻井、龜二	同	酒谷、長平
同	阿知波、富次郎	同	東京、京橋、新船松	同	加賀、江沼、橋立
同	尾張、愛知、熱田	同	佐々木、慎思郎	同	加賀、江沼、橋立
同	安藤、新太郎	同	東京、神田、西小川一	同	佐野、喜一郎
同	大阪、西長堀、北通五	同	佐藤、暢	同	加賀、江沼、瀨越
同	東、與吉	同	東京、芝、四久保、櫻川	同	坂井、正義
同	朝尾、彦貫	同	齋藤、庫吉	同	北海道、函館、船場
同	神戶、元町通六	同	新潟、東通、七番	同	岸本、五兵衛

大湖汽船株式會社頭取	北川彌平	三井物産合名會社監査役	三井養之助	株式會社東京石川島	澁澤、榮
松江汽船株式會社事務	近江、大津、川口	同	東京、日本橋、濱二	株式會社東京石川島	東京、深川、福住
取締役	水佐徳三郎	同	三井、復太郎	株式會社東京石川島	白岩、龍平
取締役	菊屋、剛十郎	同	東京、麹町、中六番	株式會社東京石川島	清國、上海、英租界
肥後汽船株式會社事務	木屋健太郎	同	相模、三浦、三崎	株式會社東京石川島	進、經、太
取締役	肥後、熊本、細工	同	備後、岡山、上	株式會社東京石川島	東京、赤坂、池袋、南
同	木、内、義綱	同	平本、元右衛門	株式會社東京石川島	白莊、司、芳之助
同	神戶、海通三	同	宮田、信一	株式會社東京石川島	木津川、曳船株式會社社長
同	木下、武、兵衛	同	東京、京橋、木挽三	株式會社東京石川島	新潟、曳船株式會社社長
同	大阪、西、靱、北通三	同	三橋、喜久造	株式會社東京石川島	川立石、汽船株式會社社長
同	網川、安松	同	東京、日本橋、新船松	株式會社東京石川島	新瀨、佳吉
同	木村、嘉元平	同	三上、熊三郎	株式會社東京石川島	白石、和太郎
同	伊豫、越智、波方	同	東京、京橋、銀座四	株式會社東京石川島	柴田、富太郎
同	岸本、庄、入	同	宮崎、現、治	株式會社東京石川島	東京、京橋、北通
同	淡路、赤穂、坂越	同	東京、日本橋、北新船	株式會社東京石川島	清水、清兵衛
同	菊池、喜三郎	同	相模、三浦、油賀	株式會社東京石川島	白峰、駿馬
同	長崎、樺島	同	水谷、久右衛門	株式會社東京石川島	島内、義雄
同	木村、上、よ	同	伊勢、飯前、松坂	株式會社東京石川島	神戶、海通三
同	陸前、登米、石巻	同	三上、豊、更	株式會社東京石川島	島田、小、平
同	木崎、俊太郎	同	神戶、下山、手通五	株式會社東京石川島	土佐、高知、九反田
同	北海道、小樽、南濱四	同	三浦、悦五郎	株式會社東京石川島	下川、嘉藏
同	三原、繁吉	同	筑後、三浦、大川	株式會社東京石川島	長崎、浦五島
同	宮島、信吉	同	水間、三左衛門	株式會社東京石川島	江澤、潤一郎
同	東京、麹町、飯田一	同	能登、羽咋、志賀浦	株式會社東京石川島	東後、夷崎、豐瀨
同	三井、八郎次郎	同	三田、村、大藏	株式會社東京石川島	
同	東京、神田、北神保	同	佐渡、佐渡、澤根	株式會社東京石川島	

○海員

明治三十五年未現在ノ甲種船長及ロ機關長ノミヲ掲ク、其列序ハ免狀登錄ノ番號順ニ據ル

○甲種船長

- 氏名 免狀登錄年月
- 大島 崇彦 明治廿四年八月
- 長屋 清二 三十年七月
- 中川 義弘 二十六年六月
- 小川 忠高 三十年七月
- 平岡 友吉 三十年七月
- 肥後 猪之丞 十五年十一月
- 山下 敦禮 三十年三月
- 茂木 鋼之 三十年十月
- 野口 清 二十八年八月
- 中辻 濱治郎 二十九年十二月
- 野口 鐵彦 三十年六月
- 祖父 江銀次 二十二年八月
- 河内 忠次郎 二十八年十二月
- 森 芳輔 三十年三月
- 真木 市郎 二十八年三月
- 松本 待五郎 二十年六月
- ジョンカムベル 三十年六月

- 天鹽北見運漕株式會社 專務取締役
- 造 船 業 遠藤 又兵衛
- 東京海上保險株式會社 大阪支店長 江崎 由松
- 株式會社東京石川島 造船所取締役 志摩 志摩、島羽
- 山中合名會社代表社員 平生 夙三郎
- 株式會社川崎造船所 取締役 平澤 道次
- 沖繩開運株式會社取締役 東京神田、末廣 平光 茂兵衛
- 回漕業兼石炭商 廣瀨 滿正
- 海 運 業 肥後 孫左衛門
- 橫濱船渠株式會社監査役 肥後 孫左衛門
- 日本鯨鯨株式會社取締役 肥後 孫左衛門
- 三池石炭合資會社長 森 時三郎
- 回 漕 業 望月 甚助
- 船 船 業 大阪、西、靑南通二 守田 孫四郎
- 雜貨商兼海運業 伊豫 越智波止頭 森 山武助
- 汽船取扱兼委託賣買業 森田 佐久太郎
- 海 運 業 越前、阪井、野區 森 正太郎
- 東京海上保險株式會社 長 越中、上野川、東岩瀬 末 延道成
- 船具機械商 東京芝、芝公園 鈴木 彌兵衛
- 船具機械商 東京、京橋、松屋 諏訪部 彦次郎
- 船 船 業 鈴木 市三郎
- 船 船 業 菅野 仙右衛門
- 船 船 業 角谷 基太郎
- 船 船 業 加賀、江、瀨、瀬 鈴木 佐平
- 回漕業委託賣買 新瀨、上、大川前通九 菅原 喜助
- 回 漕 業 羽後、飽海、酒田船場 鈴木 市次郎
- 回 漕 業 北海道、小樽、手宮裡 鈴木 市次郎

- ダビットゴールドン 明治三十年六月
- ヨハンテスエドワール トホーレン 三十年六月
- 室 專太郎 三十年七月
- 服部 柴太郎 三十年七月
- 林 橋治 三十年七月
- 吉田 有年 十六年六月
- 伊藤 定弘 二十五年十二月
- 豐田 音治郎 三十年七月
- 牧野 淺松 三十年七月
- 德重 吉助 三十年七月
- 越智 松次郎 三十年七月
- 竹村 政吉 三十年八月
- 緒方 多策 二十八年七月
- 佐分利 鍋太郎 三十年八月
- 中島 謙次郎 十六年十二月
- 安野 全次郎 二十六年四月
- 宮城 岩次郎 十七年二月
- 伊東 工三 二十六年五月
- 石川 信夫 二十九年十月
- 岩松 直助 二十九年七月
- 松本 安次郎 三十年八月
- 松本 安藏 十九年十月
- 佐本 常吉 二十六年八月

- 酒井 忠吉 明治十一年三月
- チャールズスヘンリー ヒルコート 三十年四月
- ウヰリアム、レナード 三十年四月
- 中川 源吉 三十年八月
- 三浦 義深 三十年八月
- 植田 才藏 三十年八月
- 榎崎 猪太郎 二十四年十一月
- 堀 保介 三十年六月
- 行方 亮之 二十四年一月
- 清水 三郎 十四年九月
- 山本 佐次郎 二十六年一月
- 樋谷 勝治郎 三十年五月
- 牧原 又次郎 三十年九月
- 柴山 守衛 三十年九月
- 山元 叶治 三十年九月
- 竹内 友次郎 二十六年四月
- 田阪 爲松 二十一年十一月
- 宮本 才次郎 二十一年三月
- 本田 有智 三十年九月
- 伊東 治三郎 十七年二月
- 林 鶴松 十四年七月
- 榎井 次郎 十三年十二月
- 長谷川 彦次郎 二十二年六月

- 須田 新八 明治廿三年九月
- 山本 藤十郎 二十九年九月
- 山内 嘉德 二十三年六月
- 兼康 卯三郎 二十九年十月
- 阪野 源太郎 二十九年一月
- 中川 菊太郎 二十八年九月
- 相川 卯三郎 三十年三月
- 長尾 林太郎 三十年六月
- 山本 又輔 二十七年六月
- 竹田 信義 二十二年五月
- 櫻井 市太郎 二十四年十一月
- 野村 英二 二十九年六月
- 日谷 平七 二十二年六月
- 小川 伊右衛門 二十九年八月
- 藤原 松之資 二十九年十一月
- 絹川 安松 二十三年九月
- 若林 鐘太郎 二十八年三月
- 淺井 潔 二十年四月
- 山内 幸吉郎 三十年九月
- 矢崎 祐一 三十年九月
- 服部 猪熊 三十年九月
- 藤井 治三郎 二十七年五月
- 井原 清水 二十八年十月

附錄

海事關係人名錄

木田久次郎	明治廿四年二月	川村佐吉	明治廿五年八月	高橋昌種	明治廿七年四月
榎本直三郎	二十三年一月	チヤコ、アレキサ、シゲユキ、シロウ、カス、トムソン	三十年九月	河原勝治	二十五年三月
櫻井悌藏	二十八年六月	中尾昌清	三十年九月	山中順	二十五年六月
西山宗太	二十五年一月	岩藤與十郎	十九年五月	高橋勝三郎	三十年十月
野中末吉	二十二年二月	辻新太郎	十九年四月	大江茂平	三十年十月
白根小作	二十九年三月	大熊德藏	二十一年五月	岩永敬四郎	十七年十二月
春日融	十四年二月	島津五三郎	十八年七月	八戸厚一郎	二十四年十二月
清水生重	二十九年七月	瀬之口澄元	二十年八月	大隅眞次	二十九年十二月
早崎文平	二十九年十一月	岡村鐵三郎	二十年十月	村田岩吉	十八年十一月
大松富太郎	二十三年八月	鳴下安吉	二十二年八月	川室清造	二十年四月
矢野倫貞	二十二年十二月	吉田功次郎	三十年六月	成田省吾	二十九年十二月
加藤勘之助	二十二年七月	伊藤嘉藏	二十八年六月	賀屋洋介	十七年十月
大野鈍太郎	二十年十一月	吉澤信吉	二十八年三月	太田辰治郎	三十年三月
濱田盛廣	二十年六月	吉田定康	十六年九月	三國平松	二十九年十二月
山本吉松	二十四年五月	宮地新松	二十七年五月	山本金兵衛	二十四年十二月
淡佐太郎	二十三年三月	西内幾造	二十九年十月	淺利孝留	二十九年八月
坂元平八郎	二十三年八月	繁村清太郎	二十九年三月	佐久間喜三郎	二十六年二月
澁谷敏夫	二十九年十一月	岡田喜代松	三十年六月	井川利吉	二十三年九月
郡寛四郎	十四年三月	星野清一	三十年四月	川崎次郎右衛門	三十年四月
石川傳	十二年三月	八木政吉	二十九年二月	佐久間強平	二十八年九月
村井保	二十一年十二月	岸安吉	二十六年十一月	津田覬之助	十九年五月
石本常吉	二十九年十月	島欽之助	二十九年六月	吉田重親	三十年十月
森初太郎	二十九年一月		二十九年三月	西尾英治郎	三十年十月

泉貞雄	明治二十年十月	椎名清人	明治廿二年四月	八柳榮次郎	明治廿九年十二月
荒川次郎	二十四年十一月	川井正方	二十九年十二月	竹本久藏	二十九年八月
垣見仙市	二十八年九月	米山康義	二十五年三月	藤田鑒吉	二十九年六月
牧原源吾	十一年五月	中村保美	十九年九月	杉本文吉	二十二年五月
田向榮一	二十八年九月	平井重厚	二十三年三月	關喜次郎	二十五年十二月
野邊田功三	二十四年二月	野間市馬	二十九年九月	井上猪三郎	二十三年九月
佐藤市良治	二十二年六月	白方初次郎	二十六年四月	梅園直之進	十九年六月
ロバート、シエム、スギノスヒ	三十年十月	上村四郎	二十二年六月	山田勝太郎	二十三年七月
鈴木嘉祥	三十年十月	今武平	二十七年二月	池上正直	二十九年六月
布目遷太郎	十八年十月	福岡龜吉	三十年三月	吉松嘉市郎	二十九年七月
東郷佐太郎	二十九年八月	村瀬永太郎	三十年五月	大西俊一郎	二十四年一月
川野宗太郎	十九年五月	曾良敏三郎	二十二年八月	桑原虎雄	二十八年九月
和田正太郎	二十九年十月	三浦與太郎	二十五年十二月	谷脇邦之助	二十三年四月
齋藤千次郎	三十年二月	豊島鎌吉	十九年六月	藤井源三郎	三十年一月
加納鹿之助	二十二年十一月	藤木重治	二十四年一月	村岡安爲	十三年八月
橘半平	二十八年九月	永田角三郎	二十二年十一月	佐々木智	二十九年九月
矢田一	二十九年三月	西原又太郎	二十八年十二月	木下初三郎	二十二年二月
壹岐敏直	二十三年十二月	鈴木金五郎	二十九年一月	木下重松	三十年十二月
福高吉之助	二十一年六月	松本卯三郎	三十年二月	脇濱小太郎	二十三年八月
松島忠太郎	三十年六月	山本萬次郎	十四年九月	藤野祐太郎	二十九年一月
齋川勝三郎	二十四年十一月	金子宗八	二十二年八月	矢島榮太郎	三十年四月
間山鶴勝	二十九年九月	山口春壽	二十二年十二月	後藤猪太郎	三十年十二月
南川永助	三十年五月	添田幸穂	二十七年四月	ヘクトル、ブレイサー	二十七年十月

附録

海軍関係人名録

ウヰリアム、タウンセ
 澤田 嘉重 明治三十年二月
 川元 筆助 三十年十二月
 濱田 富五郎 三十二年四月
 細田 盛次 三十年十二月
 長谷川 泰助 三十年十二月
 古川 與市 三十一年十二月
 馬瀬 彌吉 三十年二月
 中村 新太郎 三十年十二月
 ヨハネス、フラーム 九年十一月
 對馬 良馬 二十九年七月
 多羅尾 源三郎 二十五年五月
 池澤 清之 三十年二月
 大橋 源太郎 二十六年八月
 中井 時愛 十一年八月
 トーマス、ムーア 三十年六月
 萩原 松藏 二十九年十二月
 千浦 友七郎 二十九年九月
 早田 六之助 三十一年一月
 アレキサンダー、マ
 ビーダーホルストロ
 ム 十七年二月
 吉原 辰吉 二十二年二月
 二十五年三月

濱本 若松 明治廿八年十二月
 岩本 友義 三十年六月
 藤岡 幸太郎 二十九年二月
 熱海 三郎 二十九年十月
 長谷川 金太郎 二十七年六月
 野村 淺太郎 二十七年十月
 アモン、クリスチヤン
 アンドルセン 二十一年十月
 フーゴ、ウアルテル
 フーゴ、エリス、アール
 アモン、エリス、アール
 フレデリック、ウヰリヤ
 ム、ビヤソン、ホルト
 ガンナ、ウシントン
 カンナ、ウシントン
 フレデリック、エル、
 ソンメル 十年一月
 デオン、ウヰルソン 十八年十一月
 ミケール、カノー 十八年十月
 ウヰリヤム、ヘンリー、
 フォーブス 十九年四月
 トーマス、テイツバルス
 ソン 二十年九月
 アレキサンダー、カイス
 セームス、ウエプスタ
 レ、ニ 十八年十一月
 ウヰリヤム、ブライデー
 アーチスト、ブラード
 フヰリツプ、コティヤ
 ラン、ウヰリツ、トラ、
 二十七年七月
 二十七年六月

チヤール、サヨセフ、
 バクナル 明治廿八年一月
 フレデリック、リオナ
 ロバート、ジョーン、ス
 テイントン 二十七年七月
 ニコライ、ニールセン 二十六年七月
 ハムズリー、ウヰリヤ
 ムス、ウヰリヤ 二十九年三月
 フランシス、エツガー
 コーア 二十九年十月
 フレデリック、アモン、
 プーリー 三十年六月
 ロバート、スミス 三十年六月
 ウヰリヤム、ヘンリー、
 エドワード、レウイス、
 テイントン 三十一年四月
 テイントン 二十八年十二月
 リチャード、ニヴィリン
 ウヰリヤム、グリッ
 ス、マルティン 三十一年六月
 エドワード、ウヰルソン、
 ハスウエル 二十八年十二月
 ジョー、アルフレツ
 ド、リ 二十二年四月
 エドワード、モルテイマ、
 ドーマス 二十二年四月
 フヰリツプ、ヘステイン
 フス、コイイシ 三十一年二月
 アモン、マツケンジ 二十九年十二月
 ロレンス、エドワード、
 フヰリツ、ヒーターク
 リスチヤン、トムフセ
 ハンズ、ブルーン 二十六年五月
 ウヰリヤム、ウーガス、
 クリン、ウヰリツ、カール、
 ルド、ウヰリツ、コラ
 二十五年八月
 三十年三月
 三十年一月

ウオールド、エドワード
 バイン 明治九年十一月
 ニコラス、トレント 二十年三月
 ゼームス、デオン 十五年四月
 オルフ、アテリウス、ア
 アンデルセン 十九年九月
 アンデルセン、パウルツ
 ンルバルム、トムセン 十七年十月
 ニコラス、デート 二十四年四月
 フテンシス、アモン、
 アラウ 十二年八月
 アモン、フウシス、
 アレン 十年一月
 チヤール、アルヘン
 ツド、ヨラー 二十八年三月
 ウオールド、ヘンリー
 コーア 三十一年四月
 トーマス、ローハリソン
 ラース、ベルナー 二十八五月
 アモン、ウヰリヤム、ウ
 エール、ウアルテマール、
 ヴハイルバツ、 二十九年十二月
 アンドル、ハード 二十五年七月
 クリスラン、アンドリヤ
 ス、アンデルセン 二十九九月
 ヲヰリヤム、スミス 二十五年一月
 ヲヰリヤム、スミス 二十七年十一月
 ヲヰリヤム、スミス 九年十月
 エツクス、トランド 二十九九月
 カール、ケルハルドキンメ
 ショー、フレデリック、
 エラリ、ヨハンニス、
 ヲヰリヤム、ヨハンニス、
 カール、ギーゼ 三十年三月
 カニエート、ガルゼン 十七年三月
 アルフレツ、メツカルフ 二十年三月
 三十年六月

ジョー、ル、シエウール
 リチャード、スウエー
 ガン、バスケット、マ
 ツクミラン 二十三年十一月
 ゼームス、アレキザ
 ー、ハットン、ハンツ
 ハンズ、ベーターセン 三十年二月
 トーマス、ワソン 二十七年七月
 トーマス、アモン、パ
 ーントン、クリスチヤン
 セン 二十九九月
 山 本 均 二十九九月
 出口 萬之助 二十九年七月
 小田 銳次郎 二十九年七月
 東山 榮三郎 二十九年七月
 荒川 竹次郎 二十九年七月
 東 條 義行 二十九年七月
 ジョーン、ステイドマン
 エドワード、ウヰリヤン、
 キンク 二十九年七月
 ショーン、フランク、ロビ
 ソン 二十九九月
 森 平 八 二十九九月
 白石 珠生 二十九九月
 淺井 精一郎 二十九年七月
 村松 信吉 二十九年七月
 飯田 林藏 二十九年七月
 福井 光利 二十九年七月

渡邊 清次郎 明治十四年十月
 ヘンリー、バイン 三十年六月
 中野 文太郎 二十八年二月
 蝦名 篤彌 三十一年三月
 金田 慶質 三十一年三月
 トーマス、アンゲル、ラ
 ー 二十九九月
 本間 久五郎 二十九九月
 永田 七郎 二十八年九月
 横山 愛吉 二十八年九月
 日比 長吉 三十一年一月
 溝口 時廣 二十一年十二月
 小野 謙太郎 二十二年五月
 林 治 定 二十六年六月
 山口 元太郎 二十九九月
 伊藤 源太郎 三十年二月
 阪田 政美 十四年十月
 後神 吉運 二十七年十二月
 山 田 尙 二十八年九月
 アーサー、フヒツシャト
 森 定末太郎 十八年十月
 崎元 彦太郎 三十二年二月
 村百 合藏 二十一年十一月
 古川 徳次郎 二十一年三月

蜜田八十吉	明治廿五年十二月	綾部信家	明治三十一年五月	肥後慶次郎	明治廿八年十二月
小田莊作	二十四年十月	小田元吉	二十九年十二月	石川進三郎	二十九年三月
鈴木保太郎	二十六年五月	鈴木保太郎	三十年四月	那須龜太郎	三十一年六月
デボン、ウイ	二十七年七月	デボン、ウイ	三十年一月	ヨハン、マルテ非ントル	二十二年四月
シヨウ、セームス、エツ	二十八年八月	シヨウ、セームス、エツ	三十三年八月	フレデリック、アヴェニ	二十二年二月
ヘルマン、ベルンハルト、	二十一年八月	フオード、ウイール、ア	十八年六月	カール、コットヒル、フ	二十六年七月
アルバート、エツガー、	二十五年三月	フオード、ウイール、ア	十年二月	ヘンリー、ゲヒツド、セー	十八年一月
アレキサンダー、フラン	三十一年四月	フオード、ウイール、ア	二十六年十二月	カール、コットヒル、フ	二十二年四月
デボン、ウイ	九年十一月	フオード、ウイール、ア	二十九年九月	ヘンリー、ゲヒツド、セー	二十九年十二月
クリストファー、ヤンク	二十三年二月	フオード、ウイール、ア	二十七年十二月	カール、コットヒル、フ	二十九年十二月
エベネザール、シリツク、	十五年七月	フオード、ウイール、ア	二十九年九月	ヘンリー、ゲヒツド、セー	二十九年十二月
ハンス、カール、ルード	二十八年三月	フオード、ウイール、ア	三十年五月	カール、コットヒル、フ	二十九年十二月
フランツ、テツセン、	二十九年十月	フオード、ウイール、ア	二十九年五月	ヘンリー、ゲヒツド、セー	二十九年十二月
ニコラウス、ガウティ	二十八年十二月	フオード、ウイール、ア	二十九年五月	カール、コットヒル、フ	二十九年十二月
クラフトン、モーガン	二十七年七月	フオード、ウイール、ア	二十九年五月	ヘンリー、ゲヒツド、セー	二十九年十二月
傍島 甲子太郎	二十八年三月	フオード、ウイール、ア	二十九年五月	カール、コットヒル、フ	二十九年十二月
アンドリュウ、ヘルマン、	二十九年十月	フオード、ウイール、ア	二十九年五月	ヘンリー、ゲヒツド、セー	二十九年十二月
シヨウ	二十九年十月	フオード、ウイール、ア	二十九年五月	カール、コットヒル、フ	二十九年十二月
ウヰリヤム、ワロド	二十二年七月	フオード、ウイール、ア	二十九年五月	ヘンリー、ゲヒツド、セー	二十九年十二月
片岡清四郎	二十二年七月	フオード、ウイール、ア	二十九年五月	カール、コットヒル、フ	二十九年十二月
チャールズ、ハーブエー	二十一年二月	フオード、ウイール、ア	二十九年五月	ヘンリー、ゲヒツド、セー	二十九年十二月
ワットキンス	三十一年五月	フオード、ウイール、ア	二十九年五月	カール、コットヒル、フ	二十九年十二月
小牧 克慎	三十一年五月	フオード、ウイール、ア	二十九年五月	ヘンリー、ゲヒツド、セー	二十九年十二月
成川 萬藏	三十一年五月	フオード、ウイール、ア	二十九年五月	カール、コットヒル、フ	二十九年十二月

矢澤久次郎	明治三十一年七月	津村嘉吉	明治三十一年十月	根本正	明治卅二年九月
長門政清	二十八年十一月	夏目三之助	三十一年十月	野田啓太郎	三十一年十月
北野藤三郎	二十四年八月	傳 伊之助	三十一年十月	小松愛之助	三十二年十月
杉本勘次郎	二十一年七月	ウヰリヤム、レオナード、	二十一年十一月	福間隆家	三十二年十一月
トーマス、カンベル、	二十七年十月	イングラム	三十一年十一月	フレデリック、デヴィス	三十二年十二月
ロット、バートレット、	二十九年十二月	セームス、バクスター、	三十二年十一月	伊藤増吉	三十三年二月
ウオールズ	二十九年十二月	マレー	三十二年十一月	濱崎文太郎	三十三年二月
ロハン、ケオルク、エルン	二十六年三月	マレー	三十二年十一月	齋藤豊藏	三十三年三月
スト、オイゲンシツヘル	二十六年三月	マレー	三十二年十一月	杉山常作	三十三年四月
フランシス、オーストン	二十六年三月	マレー	三十二年十一月	加島熊太郎	三十三年五月
ウヰリヤム、クリツクトン	十九年十二月	マレー	三十二年十一月	藤戸永綱	三十三年六月
ウヰリヤム、アーチャー	三十年一月	マレー	三十二年十一月	三浦義豊	三十三年六月
ド、イヴァー	三十年一月	マレー	三十二年十一月	野中禎次郎	三十三年七月
フレデリック、リチャ	二十八年五月	マレー	三十二年十一月	仁禮幸助	三十三年七月
ドソン、イーヴァンス	二十九九月	マレー	三十二年十一月	泉 瀧	三十三年七月
愛發時三郎	二十九九月	マレー	三十二年十一月	ソナラフレック	三十三年七月
蘆野 恵作	二十九九月	マレー	三十二年十一月	フレデリック、デヴィス	三十三年七月
中村重謙	二十九九月	マレー	三十二年十一月	錦織森太郎	三十三年七月
守屋 下次	二十九九月	マレー	三十二年十一月	齋藤諭吉	三十三年七月
田阪初太郎	二十九九月	マレー	三十二年十一月	佐村爲吉	三十三年七月
南出 映之	二十九九月	マレー	三十二年十一月	大澤 勘一	三十三年七月
ウヰリヤム、タニエル	二十九九月	マレー	三十二年十一月	大澤 勘一	三十三年七月
蛭子末次郎	二十九九月	マレー	三十二年十一月	大澤 勘一	三十三年七月
阿部 每吉	二十九九月	マレー	三十二年十一月	大澤 勘一	三十三年七月
伊田 秀經	二十九九月	マレー	三十二年十一月	大澤 勘一	三十三年七月
ウヰリヤム、エディウイ	二十九九月	マレー	三十二年十一月	大澤 勘一	三十三年七月
アンソニル、マ	二十九九月	マレー	三十二年十一月	大澤 勘一	三十三年七月
トウ、クリステンチセン	二十九九月	マレー	三十二年十一月	大澤 勘一	三十三年七月

附録 海軍関係人名録

戸澤 衛門	明治卅三年十月	デヨン、サルター	明治卅四年六月	カチーレス、ヘンニッ	明治卅五年一月
阿部 松三郎	三十三年十月	ウヰリアム、ウーゴド	三十四年六月	熊脇末三郎	三十五年二月
サミユエル、セームス	三十三年十一月	アーチスト、ベント	三十四年七月	柳生甲子郎	三十五年一月
ヨウジ、バ、ソンス	三十三年十一月	福島吉太郎	三十四年八月	鳥屋興兵	三十五年一月
ウヰリヤム、スコット	三十三年十一月	トーマス、リース、サロ	三十四年八月	高垣麻吉	三十五年一月
ハンター	三十三年十一月	森田悦之助	三十四年八月	村上義親	三十五年二月
森井 浪治	三十三年十一月	山下種正	三十四年八月	北島由秀	三十五年二月
古田徳二郎	三十四年一月	津田文三	三十四年九月	村角司馬	三十五年二月
ヨハン、ハイン、ソツヒ	三十四年一月	山口山次郎	三十四年九月	山本 一	三十五年二月
フエーゼル	三十四年一月	浅井良藏	三十四年九月	小樽重之助	三十五年二月
ヘンリー、ウヰリヤム、	三十四年一月	堀 佐四郎	三十四年九月	熊谷亥之助	三十五年三月
フヒリツアス	三十四年一月	小關世男雄	三十四年九月	工藤嘉三郎	三十五年三月
フヒリツアス	三十四年一月	阿部利藏	三十四年九月	山 脇 武 夫	三十五年三月
吉崎 武雄	三十四年二月	平井豊吉	三十四年十月	フランク、テツバット、	三十五年三月
阿部 銀介	三十四年二月	青井利市	三十四年十一月	ハイコック、ウヰリヤム、	三十五年三月
餅 勇太郎	三十四年三月	友澤喜助	三十四年十一月	トムソン、フリオア	三十五年三月
寺中 二作	三十四年三月	長尾忠男	三十四年十一月	アチスト、フリオア	三十五年三月
益本末松	三十四年三月	下川龍爾	三十四年十一月	ピジョフ	三十五年三月
佐藤常治	三十四年四月	富永清藏	三十四年十二月	水野文治	三十五年三月
入澤寅吉	三十四年四月	渡邊常松	三十四年十二月	萩野道二	三十五年四月
大西福造	三十四年四月	出口松尾	三十四年十二月	森 熊吉郎	三十五年四月
太井寛吾	三十四年四月	マリス、ケリー、ウイ	三十四年十二月	高梨金太郎	三十五年五月
石丸喜太郎	三十四年五月	ソクラ、ウヰリヤム、	三十四年十二月	佐藤 豊 作	三十五年五月
浅井寅之助	三十四年六月	グリン、ウヰリヤム、	三十五年一月	榎原 峯 吉	三十五年五月
板本松藏	三十四年六月				
小山泰助	三十四年六月				

北岡元美	明治卅五年六月	○機 關 長	細田萬吉	二十二年十二月
田中咩十郎	三十五年六月	氏 名	香月錠之助	二十八年六月
田上郷吉	三十五年七月	上木源之助	河野振一郎	三十年八月
若竹直吉	三十五年七月	泉 京次郎	島谷藤平	三十年八月
森 貞 範	三十五年七月	村垣正通	溝口周藏	二十五年五月
ロバート、ゲエムス、	三十五年八月	安井確郎	清水爲政	十六年九月
マツクランド	三十五年八月	宇野澤辰美	ロベルト、マクテア	二十九年十月
太田丙子郎	三十五年九月	木谷東馬	ジョン、スターク	三十年四月
白木光伸	三十五年九月	中村淺吉	殿木經正	三十年八月
永津卯平	三十五年九月	中村國俊	三野嘉吉郎	十九年二月
ロバート、マツキンソン	三十五年九月	埋上道太郎	岡 野 新	二十七年七月
アルフレット、ヘンリー、	三十五年十月	山地善七	佐々木 喜三次	三十年八月
カール、ランバーク	三十五年十月	大磯 純平	箱石朝政	二十九年十一月
濱田稻吉	三十五年十一月	村上正治	竹下才十郎	三十年八月
中 川 航	三十五年十一月	藏田精祐	瀧口菊太郎	三十年九月
永井宇市	三十五年十一月	吉田新之助	石田精一郎	三十三年九月
齋 英 吉	三十五年十二月	鹽井清太郎	藤村重道	三十年六月
麓 禎 助	三十五年十二月	河野清一郎	大久保米太郎	二十八年十一月
武田良太郎	三十五年十二月	倉田喜作	平尾房吉	三十年九月
間瀬惣太郎	三十五年十二月	中野久吉	横井時庸	三十年九月
新義伊達三郎	三十五年十二月	大木敏雄	郡司掛新太郎	三十年九月
		會 我 昌	田 中 隆	二十七年五月

守谷榮次	明治廿九年十二月	鹽谷興作	明治廿一年二月	服部元次郎	明治三十年四月
中澤才三郎	三十年五月	花井清太郎	三十年一月	服部幸吉	二十四年三月
岸田松彌	三十年九月	沖正作	三十年一月	島本熊三郎	二十九年五月
柚山源八	三十年三月	成松彦助	二十八年九月	相川祐治	二十九年十月
宮城辰邦	十三年四月	石井孝正	十九年五月	喜多伊三郎	二十九年九月
森信次郎	二十二年六月	鹿島芳太郎	二十二年六月	宮本幸治	二十九年六月
浮洲次郎	二十九年十一月	矢野長四郎	二十七年二月	大木仙太郎	二十九年七月
普喜舍	二十九年三月	横田末次郎	二十三年十一月	岡田六郎	二十二年八月
伊知地多吉	二十九年七月	橋本仲治	二十九年八月	猪口徑	二十八年二月
中村良次	二十八年三月	市川庄太郎	二十九年七月	鹽田熊	二十三年三月
東條義政	三十年九月	井口精太郎	二十九年六月	久保田周太郎	二十一年九月
藤川喜多助	二十年十一月	多田銀三郎	二十年六月	二木鏖次郎	二十九年九月
山本隆	二十八年三月	小野鴻作	二十一年七月	古屋銀太	二十三年八月
安田淺次郎	三十年四月	中村忠吾	二十一年六月	尾道十郎	二十八年十一月
高野晋	二十八年十月	蘆名善造	二十一年五月	濱田半左衛門	二十一年三月
田岡典章	二十四年七月	山崎定次郎	三十年一月	露木清	二十九年九月
久保田豐吉	二十九年十二月	堀内五作	二十七年十月	森金五郎	三十年一月
藤原壽三	二十八年九月	河村市太郎	二十二年十二月	島九政助	三十年六月
長友喜三	十四年十月	福田鏡次郎	二十一年三月	岡田一貫	二十八年九月
唐松源三	二十六年六月	赤尾寅吉	三十年二月	和泉彌吉	二十二年五月
福田俊夫	十九年十一月	中原勢造	二十一年六月	山田八百次	二十六年二月
中村三吉	二十二年六月	朝倉福太郎	二十八年九月	杉本代次郎	三十年一月
城取豐太郎	二十一年七月	高木龜太郎	二十八年十月	安田稷吉	三十年一月

小川政賢	明治三十年十月	安藤重義	明治廿四年十一月	原田斌	明治三十年一月
清野喜藏	三十年十月	岩瀬松五郎	二十九年十一月	日根虎勢	三十年五月
堀内廣助	三十年十月	岩崎利三郎	二十九年一月	卷幡兵三郎	三十年十二月
山本保作	三十年十月	安宅元八	二十八年十二月	竹中八十郎	三十年十二月
友永貞十郎	二十四年四月	緒方文六	三十年五月	菅竹治	三十年十二月
山中福松	二十九年三月	太田順孝	二十二年十一月	宮本政吉	三十年六月
伊藤久太郎	二十二年十二月	堀江源五郎	三十年十一月	前田房藏	二十二年四月
陳直治	十九年九月	伊藤莊次郎	二十八年三月	瀬田寅太郎	三十年三月
明地爲治	二十四年六月	北村源藏	二十九年七月	中村久太郎	三十年十二月
高田類吉	二十七年六月	福西泰三郎	三十年三月	田中丈吉	三十年十二月
村上昇太郎	二十八年二月	佐藤兵馬	三十年十一月	小島文太	三十年十二月
堀内藤彌	二十九年六月	片江義高	三十年十一月	久保田金之助	三十年十二月
齋藤長吉	三十年五月	三重藤太郎	三十年十一月	菊地常雄	三十年十二月
兒玉梅太郎	三十年十月	島義一郎	二十年十二月	淺井謙太郎	二十九年十月
田名部宇市	三十年十月	山方富太郎	二十九年八月	山元正之助	二十七年九月
岡部福十郎	二十六年八月	林小六	二十九年七月	中尾多吉	三十一年一月
角田駒吉	二十九年四月	濱野富之助	二十八年七月	太田昌一	二十九年九月
飯島才助	二十二年十一月	多和幾治郎	二十五年八月	澤憲之助	二十九年八月
打木德三郎	二十八年五月	松野茂太郎	二十九年十月	岡見裕吉	二十八年九月
岩崎瀧雄	三十年五月	淺沼友七郎	二十三年八月	山原猪太郎	三十一年一月
阿部鶴松	二十七年十一月	池田吉松	二十七年十一月	ジョン、ブリツチエツト	十三年六月
小島忠	二十六年十月	稻津直三郎	三十年十一月	アノサ、アングーソン、	十九年十二月
小熊龍藏	三十年三月	日浦宗三郎	二十四年十二月	沼井資生	二十九年六月

附録
海軍關係人名録

宇留間文藏

加藤 勝 豐 明治廿八年六月
 加藤 勝 豐 二十八年二月
 セームス、ガローガ
 ツヨシ、マツケレ
 アーバート、スミス、トム
 ソン
 ウヰリアム、ケラハム
 フロン、ラングクリツ
 サミエール、マツクス
 トン
 エドワード、サミエール、
 マツシユール
 マツシユール、ユーイル
 デボン、マクミラン
 ツヨシ、ハンター、ロー
 ラント
 エミール、ユーリウス、
 アウグスト、カール、
 リエーデルス
 チヤールス、ウツド
 ハーヴィー、アーバート
 シム、トムソン
 セームス、フー
 ロバート、ベヴァリー
 セームス、ウアラース
 バトリック、フョセフ、
 マツコミツク
 ツヨシ、テルソン、
 ウヰリアム
 ヴァイツド、ヘンダー
 ソン
 マツクス、シユレーツ
 ガル

ダビツト、リード 明治九年十月
 デボン、バーンス 二十九日四月
 シルバード、ヘンリー 二十九日六月
 チヤールス、ウヰリス 二十八日六月
 フロン、バーチツト、
 ロバート、デイクソン、
 デルソン、ケラント、
 ワンカン、ケラント、
 ウヰエルシユ、ハチソン、
 セームス、ハチソン、
 エドワード、ノーブル
 サミエール、ヘンリー、
 ムーア
 ロバート、ハミルトン
 ルイス、チヤールス、ニッ
 セン、ヒグツアソン
 小倉豊次郎 二十八日十二月
 井上平次郎 三十一日二月
 市部光之 三十一日二月
 酢谷甚十郎 三十一日二月
 御厨與市 三十一日二月
 フレシケンダー、ドナル
 ドソン
 柏原虎雄 三十一日二月
 中川容作 三十一日二月
 渡邊 淡 二十九日七月
 吉岡逸之進 二十二年十月
 岡本嘉三郎 二十八日六月

林 類次郎 明治卅一年三月
 肥田總吉 三十一年三月
 帶屋熊雄 二十八年十一月
 本田仁之助 二十九年十一月
 木本良藏 二十三年七月
 南 儀一郎 二十八年十一月
 上野友次郎 二十九年五月
 奥野松三郎 二十九年八月
 中野 仲藏 二十九年八月
 河内研太郎 三十年六月
 フライデン、セームス、
 プライデン
 福田七平 三十一年三月
 フットル、ホル、スタ
 ヴァー
 松尾俊藏 二十六年二月
 吉尾直吉 二十九年五月
 櫻井勝助 二十九年三月
 中石剛光 二十六年一月
 橋爪克昌 二十八年五月
 門内佐太郎 二十九年八月
 岡部勝太郎 三十一年四月
 北川 保 三十一年四月
 ゼームス、テラ
 フォード
 フォード

ウヰリヤム、ヘンリー、
 マーシャル、ヘンリー、
 ヒケル、フリードリック
 ヒケル、マルヘル
 フョーシ、グッテイ
 ロバート、ロー
 デビツド、フアラ
 ロバートソン
 女池久藏 二十八年十一月
 ウヰリヤム、リリー、
 ミツチエール、シヨン、
 カスツエール
 トーマス、ゴツドフレイ
 エドワード、チヤリノ
 フランク、トラスコツト
 河 口 幸作 三十一年五月
 石井五一郎 三十一年五月
 吉満半次郎 三十一年五月
 中村大次郎 二十三年一月
 土岐 萬吉 三十年一月
 ウヰルター、ゲンダ、
 トレサイズ
 柴田敏千代 十九年七月
 マツシユール、ウヰリヤム、
 コンラツド、アルフレツ
 ド、ベテルゲン
 中村 軍助 二十九年四月
 山下 太右衛門 二十八年八月

附録

海軍關係人名録

アーキバルド、フランシ
 ス、マクナツブ
 ウヰリヤム、ワツト
 カール、エミール、ペ
 テルセン
 ゼームス、マツキンス
 京念屋 清三郎 三十一年六月
 安 田 桎 三十一日六月
 木村與一郎 三十一日六月
 薄井定次郎 三十一日六月
 ゼームス、フアラ
 久 保 傳 二十五年二月
 渡邊重三郎 二十四日八月
 則藤彌右衛門 二十九日七月
 廣 川 則得 三十一年一月
 永 田 安平 三十一年六月
 廣瀬誠次郎 三十一日六月
 コツト、シヨン、ス
 ヴァイツド
 小 島 録助 十四日三月
 石 崎 作藏 三十日七月
 左近與之吉 二十二年七月
 ウヰリヤム、ダンカン
 ウヰリヤム、バーリ
 犬島菊太郎 九年十一月
 三浦八太郎 三十一年七月
 三浦八太郎 三十年四月

野呂新左衛門 明治卅一年八月
 御厨 眞胤 十八日九月
 豊田浪太郎 三十一年九月
 フョーシ、ダン
 フアルコナー
 ゼームス、ローガン
 ゼームス、グワイツド、ニ
 スベルト、ストラング
 大 島 省 吾 三十二年九月
 岩橋達二郎 二十二年四月
 内 田 滿 彦 三十二年九月
 原 鎗 三 三十二年九月
 榎 本 慶 藏 三十二年九月
 ロバート、シヨウ、スミス
 十一年一月
 デビツド、マツクマレ
 伊 藤 源 一 二十四日一月
 石 井 收 三 三十二年二月
 黒澤三千六 三十二年二月
 齋 藤 勇 吉 三十二年三月
 マントリユール、ニコル
 チヤールス、トムソン
 河 邊 壽 三十二年五月
 大立目 小二郎 三十二年七月
 ゼームス、ヒュー、ク
 ラウス
 ゼームス、ドラモンド
 ロバート、エツト
 三十二年八月

ロバート、マン	明治卅二年八月	進藤六之丞	明治卅三年十二月	洲脇光五郎	明治卅四年九月
庄九一	三十二年九月	岩上浦三郎	三十三年十二月	松原房吉	三十四年十月
佐々木健吉	三十二年九月	吉村龜	三十四年一月	石井信次郎	三十四年十一月
ウヰリヤム、カイ	三十二年十月	松尾春藏	三十四年二月	水谷英輝	三十四年十二月
粕谷龍次郎	三十二年十一月	中村權之助	三十四年三月	松原伊三太	三十四年十二月
寺田恒	三十三年一月	小栗道孝	三十四年四月	渡邊周太郎	三十四年十二月
石野乙也	三十三年二月	永井龍吉	三十四年四月	山内繁太郎	三十四年十二月
田中品太郎	三十三年四月	細川長左衛門	三十四年五月	深海伊吉	三十四年十二月
大石勝馬	三十三年六月	北村勝文	三十四年五月	松元金次郎	三十五年一月
西村八太郎	三十三年六月	秋吉精一	三十四年五月	權田正三郎	三十五年二月
赤崎戸八郎	三十三年六月	福島心平	三十四年五月	落合榮壽	三十五年二月
島伊平	三十三年六月	河合政次郎	三十四年五月	飯田虎吉	三十五年三月
白木嘉久郎	三十三年七月	神田萬次郎	三十四年六月	田代直吉	三十五年三月
助川藤吉	三十三年八月	井上幸三郎	三十四年六月	澤野種一	三十五年三月
山東良造	三十三年九月	福西庸徳	三十四年七月	山本善太郎	三十五年三月
弘中嘉市	三十三年九月	河合三作	三十四年七月	北川貞男	三十五年三月
窪田與三吉	三十三年九月	齋藤榮吉	三十四年七月	アンガス、カリーマイカ	三十五年四月
島田正治	三十三年十月	永淵源八郎	三十四年七月	神田喜十	三十五年四月
笠川佐一	三十三年十月	前田重藏	三十四年七月	岡憲二郎	三十五年四月
森居庄三	三十三年十一月	三木正太郎	三十四年七月	山下英二	三十五年五月
高田萬次郎	三十三年十一月	讃岐新吉	三十四年九月	片山清吉	三十五年五月
佐橋柳橘	三十三年十二月	九尾善太郎	三十四年九月	岩本繁三郎	三十五年六月
ルイス、アドリアン、シム	三十三年十二月			山崎文次郎	三十五年六月
ル、アジソン、コイト、カ					

武市常喜	明治卅五年六月
金子基猪	三十五年六月
フランク、スメツドリ	三十五年六月
フアン、スウカース	三十五年六月
セームス、ガロウエド	三十五年六月
タムソン	三十五年六月
デヨン、ウオ、カイ	三十五年七月
里見政右衛門	三十五年七月
齋藤廣次郎	三十五年七月
末吉節太郎	三十五年八月
伊藤寛	三十五年九月
河村儀平	三十五年十月
松尾磯四郎	三十五年十月
坂本健造	三十五年十月
小野勝冬	三十五年十月
才木久藏	三十五年十月
沖浦百松	三十五年十二月
竹内常右衛門	三十五年十二月
矢部有	三十五年十二月
藤島義人	三十五年十二月
柳原逸郎	三十五年十二月

6710
3

明治三十六年十二月十九日印刷
明治三十六年十二月廿二日發行

定價金壹圓參拾錢

兼編輯發行者

帝國海事協會

東京市麹町區內幸町一丁目五番地

右代表者

平田學

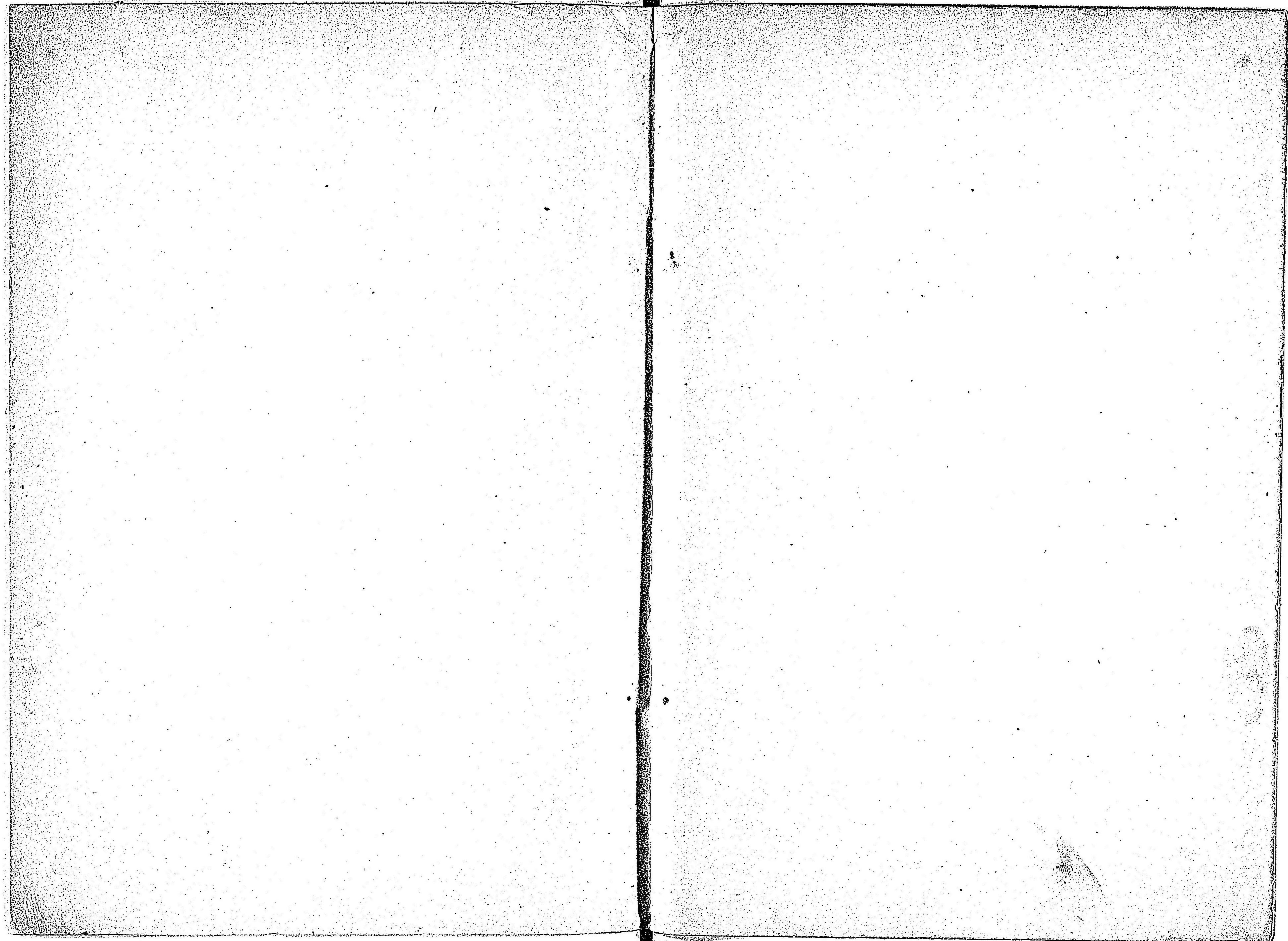
東京市芝區三田四國町二番地十七號

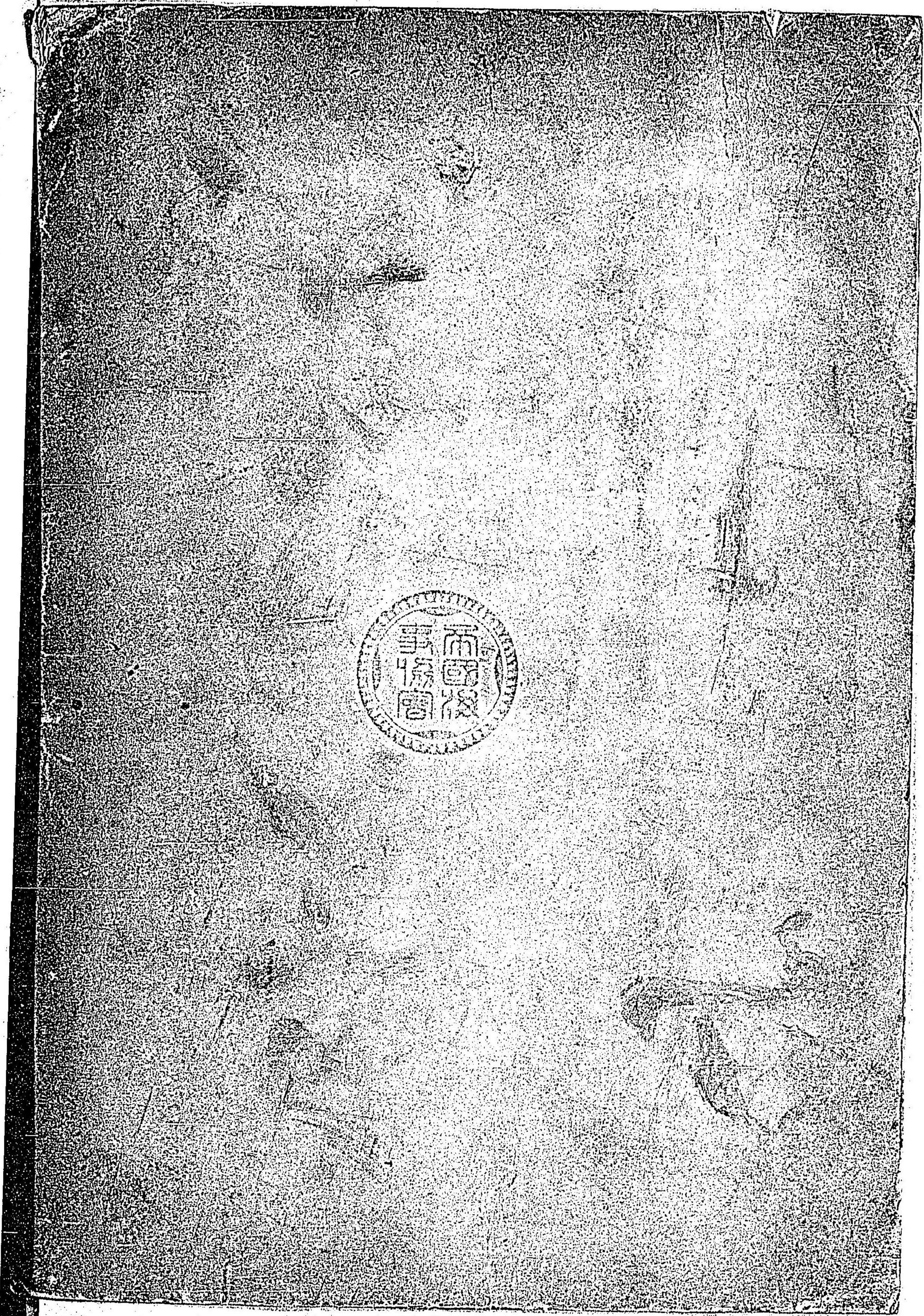
8438

印刷所

株式會社秀英舍

東京市京橋區西紺屋町廿六七番地





海
事
年
鑑

帝國
海
事
協
會

治
三
十
六
年
十
二
月
刊
行

066995-001-6

特55-122

海
事
年
鑑

帝
國
海
事
協
會

M36, 38

CDG-0067

